

令和元年度 第3回 市川市自立支援協議会

日 時：令和元年11月18日（月）
午後1時00分～3時00分

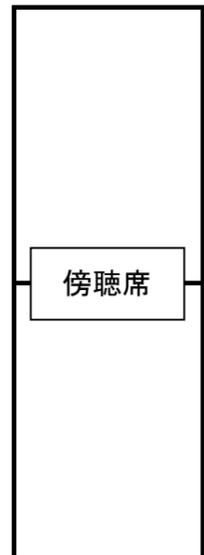
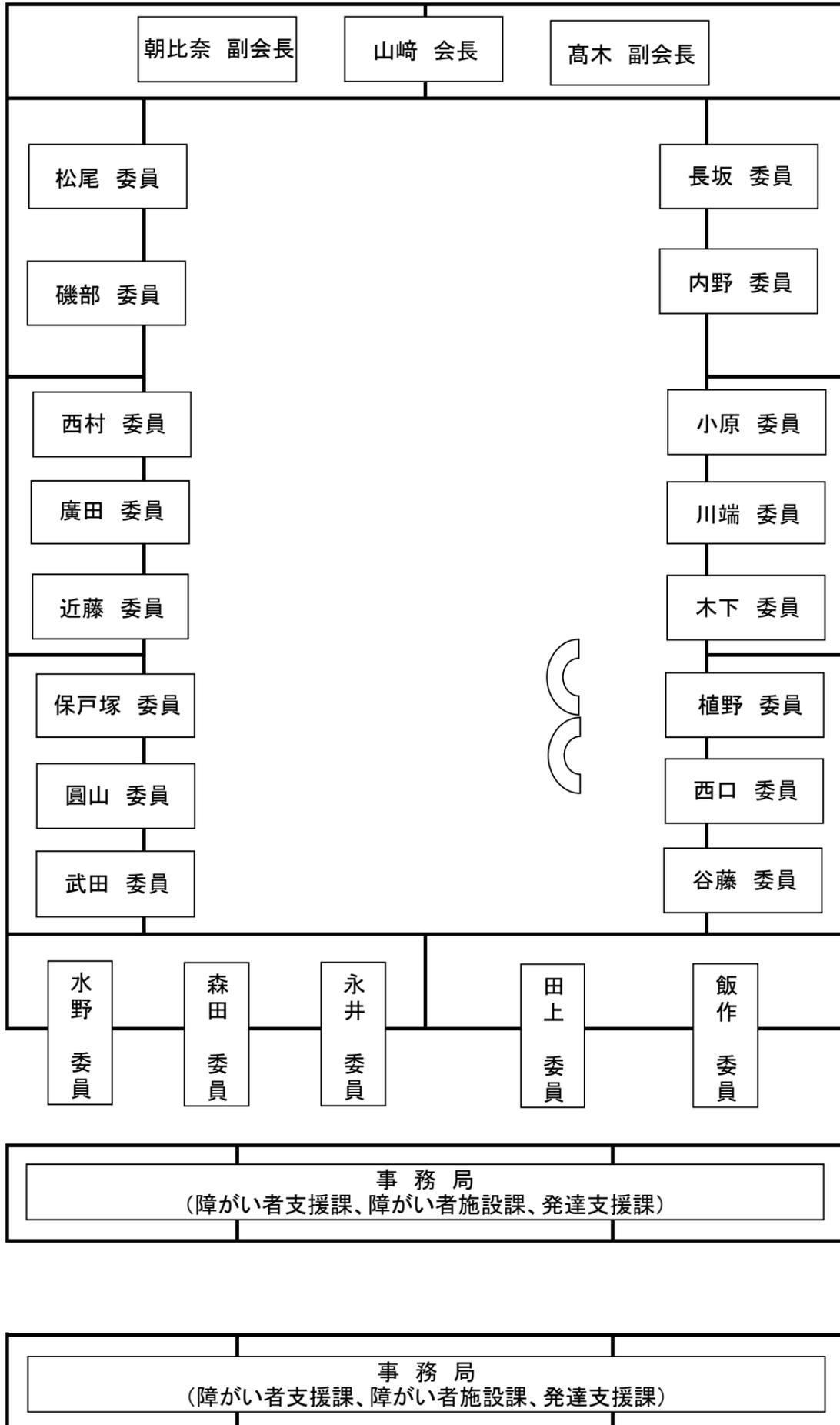
場 所：急病診療・ふれあいセンター
2階 第2集会室

会 議 次 第

- 1 開会
- 2 連絡・報告事項
- 3 地域生活支援拠点等について
- 4 基幹相談支援センター運営協議会の報告について
- 5 各専門部会・障害者団体連絡会の状況について
- 6 閉会

第3回 市川市自立支援協議会 席次表

令和元年11月18日
市川市急病診療・ふれあいセンター 2階
第2集会室



市川市内障がい者福祉施設の運営主体を対象としたアンケート集計表

アンケート実施期間: 令和元年8月23日～9月6日

配布方法: 進路検討会(欠席のところへは郵送)

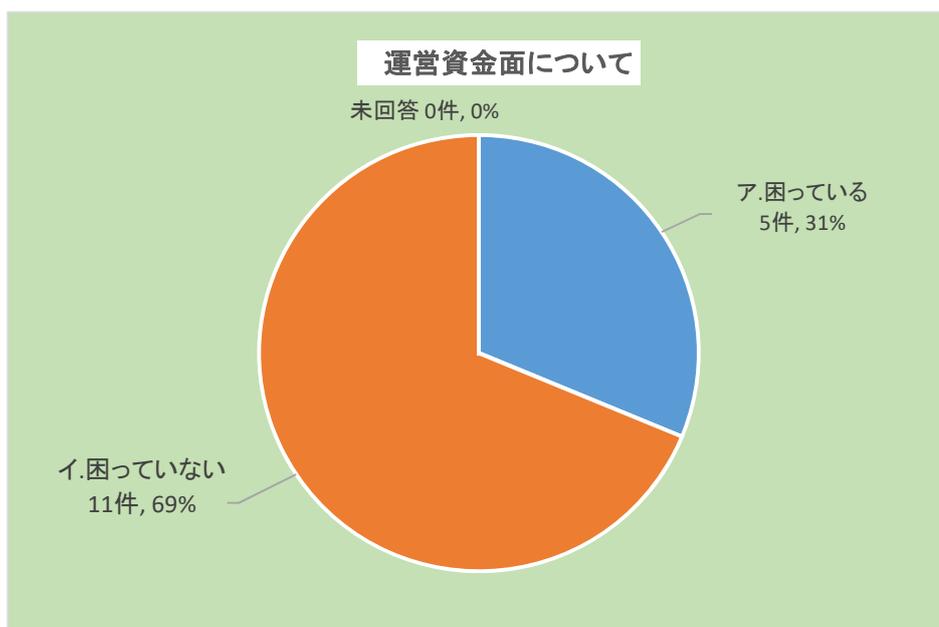
回収方法: ファックスまたは郵送

対象運営主体数	32件
回収数	16件
回収率	50.0%

Q1.現在運営を実施している中で困っていることはありますか。

①運営資金面について

ア.困っている	5件
イ.困っていない	11件
未回答	0件



1)どのように困っている？

- ・利用者のステップアップをモットーに活動しているため、卒業者が沢山出る時があり、収入が減る。経営が難しい。NPOにも法人税がかかるようになり、簡単に運営資金を貯められない。
- ・精神障がい者の特性で病状が安定せず、欠席が長かったり、入院されたりと日々変動があり、売上の見込が立てにくい。
- ・毎年、赤字になりそうな状態で賞与が払えるかなど、不安を抱えている。
- ・職員が満足できる給与を支払うには月々の収入が低い。

2)運営主体で取り組んでいること

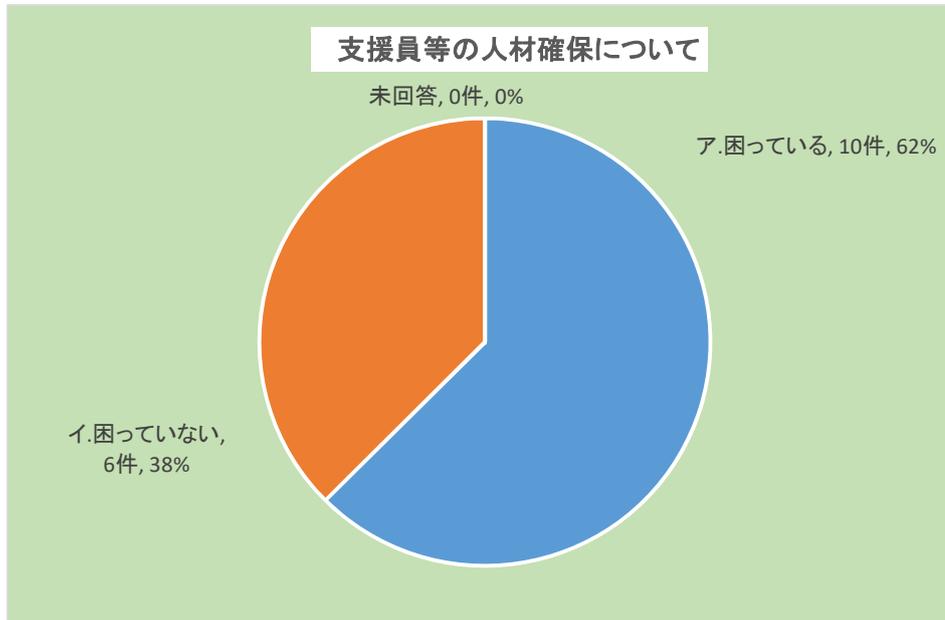
- ・定員以上に受入れを増やすことで、バランスを保つようにはしている。
- ・ステップアップに関して、事業所の活動をしているので、変えずに動き続けている。
- ・給付事業による処遇改善費等
- ・職員の昇給の上げ幅の縮小、経費削減
- ・加算を少しでも得られるように有資格者の採用や適切人員配置を心掛けている。

3)市で取り組んで欲しいこと

- ・家賃補助を以前のように有期でなく、継続したものにしてほしい。
- ・各種イベントなどの特に物品販売等障がい者事業所が活動できる場が欲しい(それが資金を得る実践の場となる)。
- ・卒業者を出した際への評価などを作っていたら、市独自の加算又は補助制度など、前向きに検討して欲しい。
- ・施設整備において、財政的な支援(大きな借入あり)
- ・地活に対する処遇改善費の支給
- ・家賃補助を復活させて欲しい。
- ・移動支援事業の単価をアップして欲しい(いくら頑張っても多大な赤字の事業である)。
- ・家賃補助の期間延長や対象施設の拡大を検討していただきたい。
- ・高次脳機能障がい者施設に対し、市独自で言語療法士などリハビリ職員の派遣や配置の助成を検討していただきたい。

②支援員等の人材確保について

ア.困っている	10件
イ.困っていない	6件
未回答	0件



1)どのように困っている？

- ・常勤男性(20～40代)の確保が難しい。また、この年代の定着率が低い。
- ・求人募集を出しても集まらない。また長く働ける人材が少ない。
- ・地域ニーズに応じて、事業展開はしたいが、人材確保がままならず、計画が立てにくい。
- ・給与が安いことも原因と分かっているが、底上げできない。
- ・プログラム(PC、ビジネスマナー等)の専門知識を有する職員が不足している。

2)運営主体で取り組んでいること

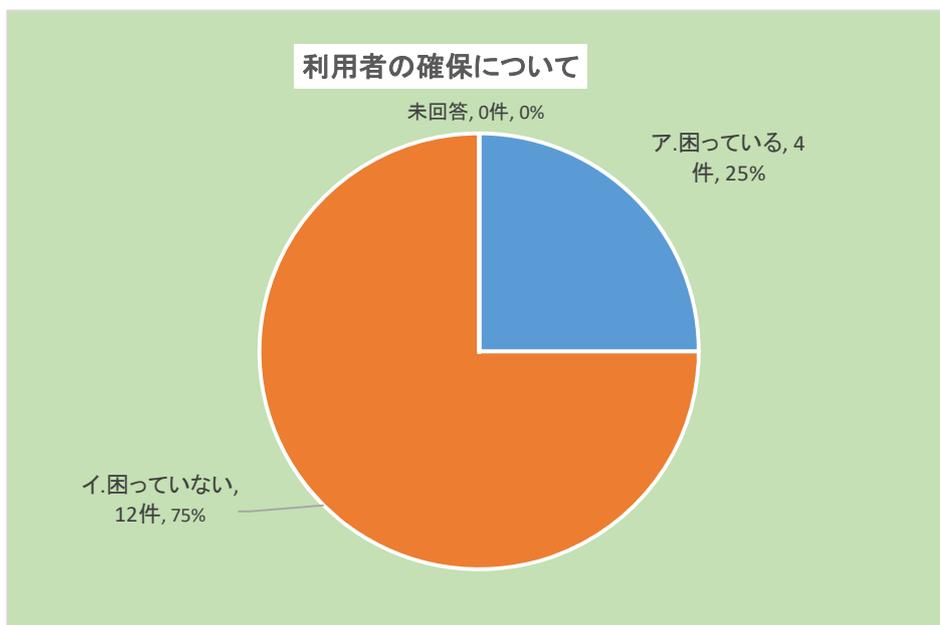
- ・有料求人媒体を活用。
- ・採用後の教育・育成。
- ・学校への訪問、紹介。
- ・雇用契約内容の見直し、働きやすい環境づくり。
- ・実習生への声かけ。
- ・福利厚生の充実。
- ・ホームページでの求人募集
- ・ハローワーク登録
- ・法人内でヘルプに入りバランスを取っている。

3)市で取り組んで欲しいこと

- ・保育園のように、市内で働く職員への手当(助成金)を作って欲しい。
- ・支援員の給与アップするよう、市独自の助成金等を作れば解決すると思う。
- ・行政の中に市内求人欄など誰でも使える掲示板、HPの中にも同様のものが掲載できると、市内在住の方が働くきっかけになると思う。
- ・大胆な取り組み。例えば、市内事業所勤務の場合、奨学金の一部助成とか。障害をキーワードにした人材フェア、福祉職への家賃補助(保育では8万円と聞く)。
- ・福祉の仕事の募集や集団面接会などをハローワークのように開催して欲しい。
- ・市でまとめて施設間の求人サイトがあるとよい。

③利用者の確保について

ア.困っている	4件
イ.困っていない	12件
未回答	0件



1)どのように困っている？

- ・応募者が少ない。
- ・65歳になると、介護保険優先になるため、生活相談員から介護のデイサービスへ移り替わるケースが増えていますが、きちんと本人の要望を確認して欲しい。
- ・スタートして間もないのでPRに苦労している。
- ・就職等で退所となったあとの利用者の確保。
- ・就労移行支援事業を利用する利用者が少ない。
- ・通所率が低い。(特に精神障がいの方に多くみられる)

2)運営主体で取り組んでいること

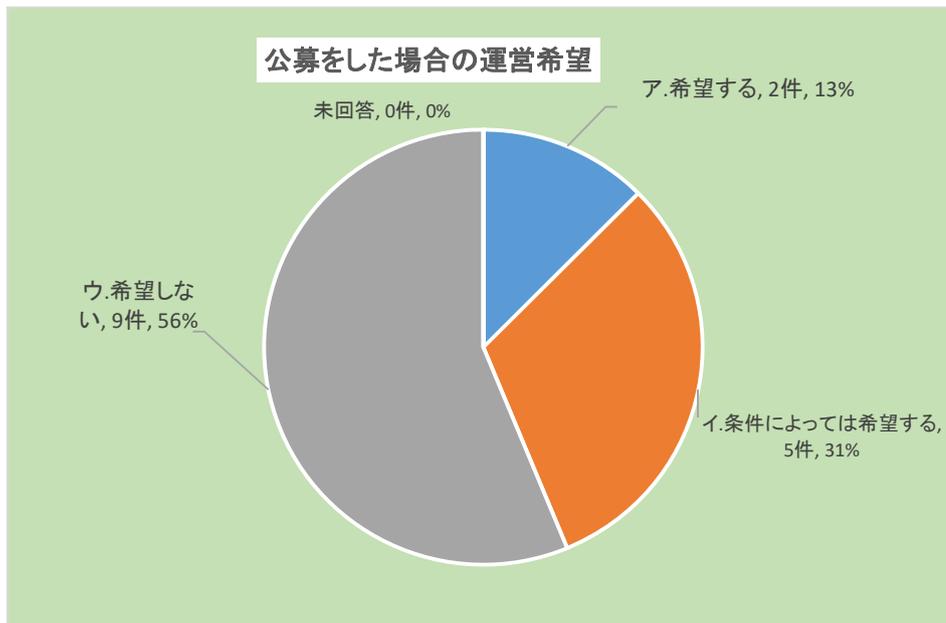
- ・パンフレットやホームページ等で告知をしているが、場所的な事か、反応が低いです。
- ・関係機関への宣伝(病院、クリニック、デイケア、他事業所、地域etc.)。

3)市で取り組んで欲しいこと

- ・市内事業所一覧の冊子等で情報を広めて欲しい。
- ・機械的にサービスを異動するのではなく、本人の気持ちを最優先させて欲しい。
- ・書面での情報提供だけではなく、窓口に来た方への手厚い説明(事業所の事)、同行などしてもらいたい。えくるだけでは足りない(同法人の中で利用者を移動したり、長い期間、利用者を滞留している法人などへの指導などしてほしい)。
- ・市のホームページに市内障がい者施設の空き状況(施設利用状況)を分かりやすく表示できるようにして欲しい。
- ・利用定員がオーバーしている事業所と少ない事業所とのバランスが悪いので調整ができるようになって欲しい。

Q2.市内公立施設(身体障がい者福祉センター、フォルテ行徳、明松園)を今後民営化または指定管理とするための公募をした場合、貴運営主体は運営を希望しますか。またその理由をお聞かせください。

ア.希望する	2件
イ.条件によっては希望する	5件
ウ.希望しない	9件
未回答	0件



「ア. 希望する」の主な理由

- ・活動拠点ができることは利用者にとってとても有益と考える。
- ・広く一般市民に対して障がい者を理解していただく啓発活動の場となる。
- ・社会的な方向性と自社の方向性が合致するため希望します。

「イ. 条件によっては希望する」の主な理由

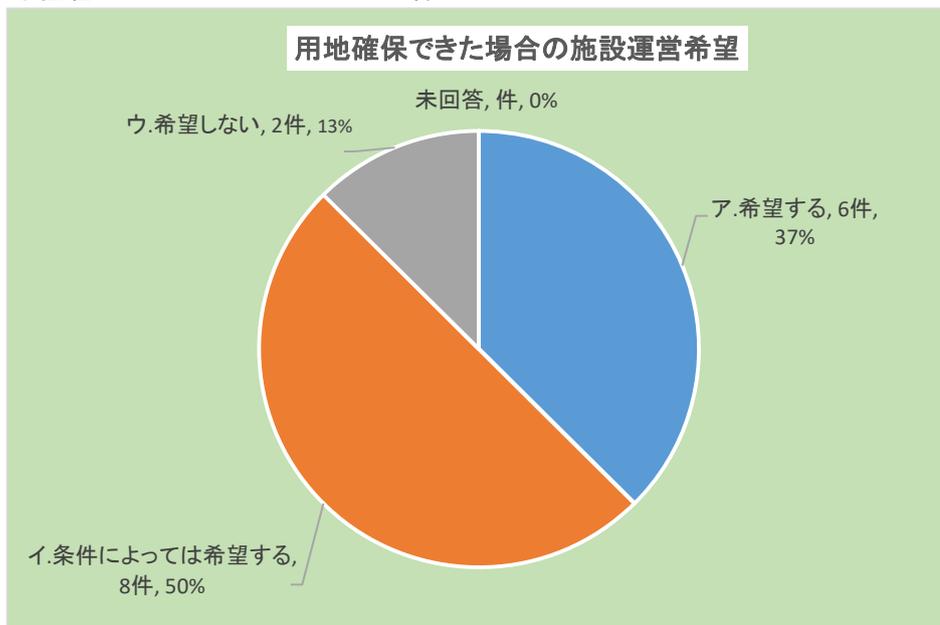
- ・フォルテ行徳・明松園など近くの施設であれば興味ある。
- ・事業譲渡という形での運営であれば興味はある。
- ・行徳方面の福祉を担ってきたので、身障センター及びフォルテ行徳については、条件によっては希望したい。
- ・市川市の地域活動に一施設として貢献したいと思っている。また市内の福祉施設職員有志で地域イベントや地域貢献(清掃)、勉強会を実施しています。市川市を盛り上げていきたいので様々なことにチャレンジしていきたい。

「ウ. 希望しない」の主な理由

- ・市内NPO法人等広くチャンスがあった方が良く思うため。
- ・人材が不足しているため。
- ・建物が古い(使い勝手の悪さ、修繕の必要性など)。
- ・既存施設の運営に注力したい。

Q3.市が施設建設の用地を確保できた場合、貴運営主体はその用地で障がい者施設の運営を希望しますか。またその理由をお聞かせください。(希望する場合で、運営にあたり市に要望等がある場合、その内容も併せてお聞かせください。)

ア.希望する	6件
イ.条件によっては希望する	8件
ウ.希望しない	2件
未回答	件



「ア. 希望する」の主な理由

- ・より良い環境下にて利用者へ支援を行いたい、他事業も開始し就労支援収入を増やしたいため。
- ・野生動物保護、国内繁殖、利用者賃金向上の視点から市川市内に大規模な用地を必要としている。
- ・今後の利用者の方向性やニーズ、地域課題についてサービスを拡大していきたいため。

「イ. 条件によっては希望する」の主な理由

- ・市川は地価が高く、用地の確保が難しいため。
- ・現在の市川市内の状況は居住系の施設が大変少ない状況であり、また保護者も高齢化していることからグループホーム等の整備に関しては興味がある。
- ・人材確保の問題が常についてまわる。希望したいが、実際には難しいのだろうと思う。
- ・行徳地区の家賃は20万円以上と高く、運営を圧迫している。そういう面を解消させたい。

「ウ. 希望しない」の主な理由

- ・既存施設の運営に注力したいため。

◎要望等

- ・GH建設のニーズが高いため、GHIに限定して欲しい。いずれ法人の資産にできるようにすれば、市川市においてGH運営に参入する法人を増やせるのではないかな？
- ・1,000坪以上の土地があると、この企画が実現に近づきます。
- ・2,000坪以上の用地を望んでおります。用地が大きければ大きい程、尚更良いです。
- ・活動する場を積極的に提供して欲しい。
- ・物品等を買っていただくのではなく、自ら考え、創り、販売していくことが障がい者の就労支援になると考えるから。
- ・契約年数など無期限又は10年単位などにしてくれると助かる。
- ・運営の早期安定のため、土地の無償貸与あるいは低額での賃貸借、建設費の補助等を要望します。
- ・時期が決まったら早めに地域の法人と検討し、どのようなコンセプト、何をやるかを協議するとよいです。
- ・資金があっても、市川の住民ニーズにこたえてくれることが大切。
- ・市の北部ばかりでなく、行徳地区にも光を当てて、障害福祉を充実させていただきたい。
- ・地域課題等の共有、どのようなサービスが必要とされているのか情報交換等。

障推第2018号

令和元年10月24日

各市町村障害保健福祉主管課長 様

千葉県健康福祉部障害者福祉推進課長
(公印省略)

第七次千葉県障害者計画策定に係る関係団体等ヒアリングについて (依頼)

本県の障害福祉行政につきましては、日頃格別の御高配をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、現行の第六次千葉県障害者計画の計画期間が令和2年度に終了することをふまえ、次期計画策定の参考とするため、関係団体等の皆様に御意見をお伺いすることになりました。

つきましては、貴市町村における、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）第89条の3の規定により設置する協議会の意見をお伺いしたいので、御多忙中恐縮ですが、下記により御回答くださいますようお願い申し上げます。

記

1 回答方法

協議会の意見を取りまとめて別添調査票に記入の上、下記担当宛て電子メールまたはファクシミリで提出してください。

2 回答期限

令和2年1月31日（金）

問合せ先

千葉県健康福祉部障害者福祉推進課
共生社会推進室 佐藤

TEL : 043-223-2338

FAX : 043-221-3977

MAIL : cplan6th@mz.pref.chiba.lg.jp

留 意 事 項

- 1 市町村における、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第89条の3の規定により設置する協議会の御意見をお伺いするものです。
- 2 共同で協議会を設置している市町村においては、事務局等を担当する市町村が代表して意見の取りまとめを行い回答してください。
- 3 意見の取りまとめ方法については、各協議会の実情に応じて対応してください。
(協議会開催、文書照会による意見確認等)
- 4 第六次千葉県障害者計画の進捗状況等に関する資料を下記のとおり添付しておりますので、意見の取りまとめの際の参考としてください。

(添付資料)

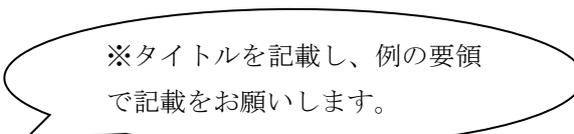
- ・ 第六次千葉県障害者計画 (概要版)
- ・ 第六次千葉県障害者計画 数値目標達成状況管理表

令和元年度実施第七次千葉県障害者計画策定に係るヒアリング調査票

千葉県健康福祉部障害者福祉推進課（共生社会推進室）行き（送付票不要です。）

（E - m a i l cplan6th@mz.pref.chiba.lg.jp）

（F A X 0 4 3 - 2 2 1 - 3 9 7 7）

提出日	令和 年 月 日
協議会名	
共同で協議会を設置している場合、共同している市町村名	
担当者等	所属名： 担当者名： 電話番号： E - m a i l：
<p>【記載していただきたいことは以下のとおりです。】</p> <p><u>1 現在の障害者施策について課題と思われること等。</u></p> <p><u>2 第七次千葉県障害者計画に期待すること。</u></p> <p>現計画に位置付けがある施策も含め、令和3年度からの県が策定する計画に位置付けるべきだと考えるものなどについて記載してください。</p> <p>1及び2に関して、またその他 <u>県障害者施策についてお気付の点等</u> ございましたら併せて記載してください。</p> <p>※記載量に制限はありません。</p> <p>※整理のため、次のようなかたちで記載をお願いいたします。なお、1、2のいずれかだけでも結構です。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> <p>【記載例】</p> <p><u>1 現在の障害者施策について課題と思われること等。</u></p> <p>〇〇〇について、〇〇〇が支障となっており、〇〇〇とすることが課題（問題）。</p> <p><u>2 第七次千葉県障害者計画に期待すること。</u></p> <p>〇〇〇について、〇〇〇を〇〇〇とするため、〇〇〇に取組む必要があります。</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">【次頁から記載欄】 ※ページが不足する場合は追加してください。</p>	

市川市自立支援協議会 委員名簿(令和元年度)

	委員氏名	団体名	委員分類
1	朝比奈 ミカ	中核地域生活支援センター がじゅまる	相談支援事業者
2	長坂 昌宗	基幹相談支援センター えくる	相談支援事業者
3	松尾 明子	基幹相談支援センター えくる	相談支援事業者
4	近藤 薫	社会福祉法人南台五光福祉協会 やまぶき園	相談支援事業者
5	内野 智美	一般財団法人市川市福祉公社	相談支援事業者
6	圓山 祐生	社会福祉法人佑啓会 市川市そよかぜキッズ	相談支援事業者
7	水野 庸子	一般財団法人市川市福祉公社	サービス事業者(訪問系)
8	森田 美智子	社会福祉法人いちばん星	サービス事業者(日中活動系)
9	武田 陽一	社会福祉法人市川レンコンの会	サービス事業者(居住系)
10	磯部 利江子	社会福祉法人一路会	サービス事業者(地域生活支援事業)
11	永井 洋至	アクトレゾナンス合同会社	サービス事業者(地域生活支援事業)
12	小原 邦子	千葉県市川健康福祉センター	精神保健福祉関係者
13	高木 憲司	和洋女子大学	学識経験者
14	西村 拓士	障害者就業・生活支援センター いちされん	就労支援関係者
15	廣田 聖	福祉的就労担当者会議	就労支援関係者
16	植野 圭哉	障害者団体連絡会	障害者団体
17	木下 静男	障害者団体連絡会	障害者団体
18	田上 昌宏	障害者団体連絡会	障害者団体
19	西口 美恵子	障害者団体連絡会	障害者団体
20	谷藤 利子	障害者団体連絡会	障害者団体
21	飯作 吉民	障害者団体連絡会	障害者団体
22	山崎 泰介	社会福祉法人市川市社会福祉協議会	権利擁護・地域福祉関係者
23	堀江 弘孝	市川市民生委員児童委員協議会	権利擁護・地域福祉関係者
24	保戸塚 陽一	こども発達支援センターやわた	障害児支援関係者
25	川端 佐知子	須和田の丘支援学校	障害児支援関係者 (特別支援学校関係者)

計画第4章(p.53~59) 重点施策

※ 見方→

ページ数	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2見込
------	-------	-------	--------------	-------	------

(1) 相談支援・権利擁護体制の充実

① 指定特定相談支援事業所箇所数

p.54	33箇所	33箇所	33箇所	40箇所
------	------	------	-------------	------

② 基幹相談支援センター職員による関係会議への出席種類数・回数(ネットワーク構築)

p.54	27種類 128回	37種類 157回	34種類 166回	35種類 171回
------	--------------	--------------	----------------------	--------------

③ 「障害者虐待防止法」の認知度

p.55	10.1%	-	-	30.0%
------	-------	---	---	-------

(※1) (※2)

④ 「障害者差別解消法」の認知度

p.55	19.0%	-	-	40.0%
------	-------	---	---	-------

(※1) (※2)

(※1 …平成28年に行った「障害のある方々の暮らしと福祉についての意識調査」の結果から。)

(※2 …e-モニターによる結果。)

⑤ 成年後見報酬助成延べ件数

p.55	12件	17件	30件	18件
------	-----	-----	------------	-----

(2) 就労支援の推進

① 一般就労への移行者数

p.55	83人	94人	100人	125人
------	-----	-----	-------------	------

② 年間一般就労移行率(※1)

p.55	36.7%	-	34.3%	46.5%
------	-------	---	--------------	-------

(※1 …市内の就労移行支援事業所の利用者及び障害者就労支援センター「アクセス」の就職活動支援登録者のうち一般就労に移行した人の割合。)

③ 就労定着支援事業による支援を開始した時点から1年後の職場定着率

p.55	-	-	100% (1人中1人)	80%以上
------	---	---	------------------------	-------

(調査時点：H31年3月末時点)

④ 就労移行支援事業の利用者数(累計数)

p.55	885人 (53人)	1,052人 (75人)	1,323人 (88人)	1,062人
------	---------------	-----------------	------------------------	--------

※ カッコ内は、特別支援学校高等部3年生による、卒業後に就労継続支援B型事業所の利用を希望する際のアセスメントの数。

⑤ 市からの業務発注の件数

p.55	7件	7件	16件	12件
------	----	----	------------	-----

(3) 地域生活の充実

① 地域生活支援拠点等整備数

p.56	検討中	検討中	検討中	1つ
------	-----	-----	------------	----

② 指定一般相談支援事業所箇所数

p.57	7箇所	11箇所	12箇所	10箇所
------	-----	------	-------------	------

③ 入所施設からの地域生活移行者数(累計数)

p.57	8人	16人	19人	19人
------	----	-----	------------	-----

④ 精神科病院長期在院者数

(本市の生活保護受給者及び精神障害者入院医療費助成制度対象者のうち、精神科病院に継続して1年以上入院している人数)

p.57	239人	264人	239人	215人
------	------	------	-------------	------

⑤ 市内グループホームの定員数

p.57	161人	172人	187人	195人
------	------	------	-------------	------

(4) 災害対策の推進

① 避難行動要支援者名簿の登録者数の増加率(対H30年度比・障害分)

p.57	-	-	3,319人	※
------	---	---	---------------	---

(※ 新制度施行後の名簿登録者数(障害分)を5%増)

② 自治会等への啓発事業回数

p.57	4回	3回	3回	4回
------	----	----	-----------	----

③ 総合防災訓練への障害者団体連絡会からの参加

p.58	1回	1回	1回	1回
------	----	----	-----------	----

(5) 障害児支援の推進

① 保育所等訪問支援事業延べ訪問回数

p.58	54回	68回	32回	150回
------	-----	-----	------------	------

② 地域職員への研修参加人数

p.58	340人	364人	373人	400人
------	------	------	-------------	------

③ 主に重症心身障害児を支援する児童発達支援センター及び放課後等サービス事業所の数

p.58	3箇所	4箇所	4箇所	4箇所
------	-----	-----	------------	-----

④ 指定障害児相談支援事業所箇所数

p.58	22箇所	21箇所	22箇所	30箇所
------	------	------	-------------	------

(6) 人材の確保と育成

① 障害児者相談支援ガイドライン研修平均受講者数

p.59	85人	70.7人	72.3人	85人
------	-----	-------	--------------	-----

② 相談支援グループスーパービジョン参加事業所数

p.59	26箇所	31箇所	31箇所	36箇所
------	------	------	-------------	------

③ 市内法人における入職率と離職率の差

(本市に本部を置く障害福祉サービス等を実施する法人における当該年度の入(離)職者数を在籍職員数で除した割合)

p.59	3.1ポイント	3.75ポイント	4.76ポイント	5ポイント以上
------	---------	----------	-----------------	---------

計画第5章(p.60~107) 市川市障害者計画

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)
 ※ 《%》は、A=100、B=75、C=50、D=25として、重点事業について、平均値を算出したもの。

第1節 子育て・教育の充実

《100%》

	A	B	C	D	-
重点事業	2				
その他の事業	5				
合計	7				

<課題>

- ① 巡回相談を希望する保育園が多いため、助言による児童の変化を年度内に確認できない。
- ② 通常学級に在籍する児童生徒の保護者、学校教職員にも、スマイルプラン（個別の教育支援計画）の周知が必要である。

第2節 社会参加・就労の促進

《100%》

	A	B	C	D	-
重点事業	4				
その他の事業	4	2			
合計	8	2			

<課題>

- ① 障がいのある人が参加しやすい講座・講演会が少ない。
- ② 就労支援の担い手の育成を目的に研修を開催しているが、参加者が減少傾向にある。

第3節 生活支援の充実

《100%》

	A	B	C	D	-
重点事業	2				
その他の事業	4				
合計	6				

<課題>

- ① 地域で生活していくためには、支援の担い手の確保と質の向上、地域住民の理解が必要である。

第4節 相談・権利擁護体制の確立

《88%》

	A	B	C	D	-
重点事業	1	1			
その他の事業	2	1			
合計	3	2			

<課題>

- ① 障がい者自身が「自分で決める」ことができるように、相談支援の担い手の質の向上、権利擁護制度の周知を図る必要がある。

第5節 保健・医療・リハビリテーションの充実

《88%》

	A	B	C	D	-
重点事業	1	1			
その他の事業	4				
合計	5	1			

<課題>

- ① 関係機関ごとで保有している情報を、共有・連携するために、体制のあり方について見直す必要がある。

第6節 誰にとっても暮らしやすいまちづくりの推進

《75%》

	A	B	C	D	-
重点事業		1			2
その他の事業	3	4			
合計	3	5			2

<課題>

- ① 住まいに関する問合せや情報を共有する仕組みができていない。
- ② 避難行動要支援者名簿の意義と役割について、周知徹底を図る。

※ 「-」は、性質上、A～Dの評価ができなかったもの。

第7節 地域の理解・支援の促進

《94%》

	A	B	C	D	-
重点事業	3	1			
その他の事業	9	1			
合計	12	2			

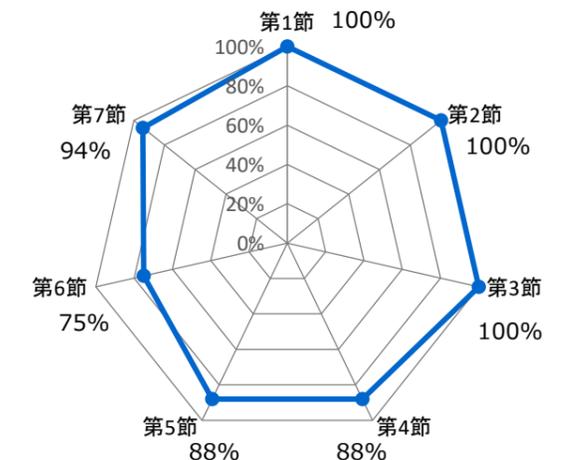
<課題>

- ① 障がい者の地域での生活を支える人材の確保と育成を図る。
- ② 児童生徒が、障がいについて正しく理解する機会を増やす。

まとめ

《94%》

	A	B	C	D	-
重点事業	13	4			2
その他の事業	31	8			
合計	44	12			2



計画第5章(p.60~107) 市川市障害者計画 <重点事業>

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)
 ※ 《%》は、A=100、B=75、C=50、D=25として、節ごとに平均値を算出したもの。

第1節 子育て・教育の充実 ~のびのびと育つ~ H30《100%》

1. 子育て支援

	事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度			H31年度			R2年度			備考
				実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	
p.63	1 保育園巡回相談事業	こども政策部	発達支援課	保育園巡回件数	32回	55回	48回	A	70回			75回		

2. 学校教育

	事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度			H31年度			R2年度			備考
				実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	
p.65	2 特別支援教育推進事業	学校教育部	指導課	市川スマイルプランの作成率	1.7%	2.1%	4.5%	A	2.4%			2.7%		

第2節 社会参加・就労の促進 ~地域で活動する~ H30《100%》

1. 生涯学習

	事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度			H31年度			R2年度			備考
				実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	
p.68	3 市主催講座・講演等における合理的配慮の推進	福祉部	障がい者支援課	手話通訳・要約筆記の派遣件数	8件	10件	16件	A	11件			12件		

2. スポーツ・レクリエーション・文化芸術活動

	事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度			H31年度			R2年度			備考
				実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	
p.70	4 障害者スポーツ事業	文化スポーツ部	スポーツ課	障害者軽スポーツ教室への参加人数	45人	100人	131人	A	100人			100人		

3. 就労支援・雇用促進

	事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度			H31年度			R2年度			備考
				実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	
p.73	5 優先調達推進事業	福祉部	障がい者支援課	調達件数	7件	10件	16件	A	11件			12件		
p.73	6 就労支援に関わる研修	福祉部	障がい者支援課	開催件数	1回	1回	1回	A	1回			1回		参照→<その他の事業>第7節-3.

第3節 生活支援の充実 ~地域で暮らす~ H30《100%》

1. 福祉サービス

	事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度			H31年度			R2年度			備考
				実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	
p.76	7 精神障害等に関する講演会・研修会の開催	福祉部	障がい者支援課	実施回数 講演会・研修会への参加延べ人数	- -	1回 50人	7回 204人	A	2回 100人			3回 150人		

2. コミュニケーション・移動サービス

	事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度			H31年度			R2年度			備考
				実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	
p.79	8 失語症会話パートナー派遣事業	福祉部	障がい者支援課	会話パートナー派遣人数	108人	130人	152人	A	130人			130人		

第4節 相談・権利擁護体制の確立 ~自分で決める~ H30《88%》

1. 相談・情報提供

	事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度			H31年度			R2年度			備考
				実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	
p.81	9 相談支援グループスーパービジョン	福祉部	障がい者支援課	実施回数 延べ事例提出事業所数	12回 26箇所	18回 36箇所	17回 31箇所	B	18回 36箇所			18回 36箇所		

2. 権利擁護

	事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度			H31年度			R2年度			備考
				実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	
p.83	10 成年後見制度利用支援事業	福祉部	障がい者支援課 介護福祉課	相談案件数(障害分) 啓発回数	30件 7回	60件 10回	36件 16回	A	60件 10回			60件 10回		

計画第5章(p.60~107) 市川市障害者計画 <重点事業>

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)
 ※ 《%》は、A=100、B=75、C=50、D=25 として、節ごとに平均値を算出したもの。

第5節 保健・医療・リハビリテーションの充実 ～健やかに暮らす～ H30《88%》

1. 健康づくり・予防

事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度		H31年度		R2年度		備考	
			実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価		計画値
p.86 11 ゲートキーパー養成研修	保健部 保健センター 健康支援課	研修の開催回数	2回	2回	2回	A	2回		2回		

2. 医療・リハビリテーション

事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度		H31年度		R2年度		備考	
			実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価		計画値
p.88 12 身体障害者地域リハビリテーション体制整備事業	福祉部 障がい者支援課	情報交換会の開催回数	-	2回	1回	B	2回		2回		

第6節 誰にとっても暮らしやすいまちづくりの推進 ～安心して暮らす～ H30《75%》

1. 福祉のまちづくり

事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度		H31年度		R2年度		備考	
			実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価		計画値
p.92 13 新第1庁舎整備事業	街づくり部 新庁舎建設課	多機能トイレの設置箇所数	-	工事中	工事中	-	工事中		7箇所		8箇所 (建築計画変更)

2. 居住環境の整備

事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度		H31年度		R2年度		備考	
			実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価		計画値
p.94 14 住まいに関する検討会議の開催	福祉部 福祉政策課 市営住宅課	開催回数	-	2回	1回	B	2回		2回		

3. 災害対策・防犯

事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度		H31年度		R2年度		備考	
			実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価		計画値
p.96 15 避難行動要支援者対策事業	福祉部 地域支えあい課、障がい者支援課	新制度施行後の名簿登録者数の増加率 (対平成30年度比・障害分)	-	-	3,319人	-	+3%		+5%		

↑新制度施行年度の名簿登録者数。

第7節 地域の理解・支援の促進 ～地域で支え合う～ H30《94%》

1. 理解促進

事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度		H31年度		R2年度		備考	
			実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価		計画値
p.99 16 障害に関する理解啓発事業	福祉部 障がい者支援課	開催回数 参加人数	1回 250人	1回 300人	1回 450人	A	1回 300人		1回 300人		

2. 交流の機会・場づくり

事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度		H31年度		R2年度		備考	
			実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価		計画値
p.101 17 福祉の店運営支援事業	福祉部 障がい者支援課 障がい者施設課	出店回数	215回	270回	289回	A	270回		270回		

3. 人材確保・育成

事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度		H31年度		R2年度		備考	
			実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価		計画値
p.103 18 障害児者相談支援ガイドライン研修 (再掲)	福祉部 障がい者支援課	平均受講者数	85人	85人	72.3人	B	85人		85人		

4. ネットワーク形成

事業名	担当課	指標等	H28年度	H30年度		H31年度		R2年度		備考	
			実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価		計画値
p.105 19 基幹相談支援センターによるネットワーク構築	福祉部 障がい者支援課	基幹相談支援センター職員による関係会議への出席種類数・出席回数	27種類 128回	34種類 160回	34種類 166回	A	35種類 166回		35種類 171回		

計画第5章(p.60~107) 市川市障害者計画 <その他の事業>

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)

第1節 子育て・教育の充実 ～のびのびと育つ～

1. 子育て支援

	事業名	担当課	H30年度					H31年度					R2年度					備考		
			A	B	C	D	-	A	B	C	D	-	A	B	C	D	-			
p.63	1 ライフサポートファイル活用事業	子ども政策部 発達支援課	●																	
p.63	2 地域職員への研修事業	子ども政策部 発達支援課	●																	
p.63	3 放課後保育クラブ事業	生涯学習部 青少年育成課	●																	

2. 学校教育

	事業名	担当課	H30年度					H31年度					R2年度					備考		
			A	B	C	D	-	A	B	C	D	-	A	B	C	D	-			
p.66	4 市川市特別支援連携協議会	学校教育部 指導課	●																	
p.66	5 義務教育学校整備事業	生涯学習部 教育施設課	●																	

第2節 社会参加・就労の促進 ～地域で活動する～

1. 生涯学習

	事業名	担当課	H30年度					H31年度					R2年度					備考		
			A	B	C	D	-	A	B	C	D	-	A	B	C	D	-			
p.68	6 図書館の障害者資料製作・収集事業	生涯学習部 中央図書館	●																	

2. スポーツ・レクリエーション・文化芸術活動

	事業名	担当課	H30年度					H31年度					R2年度					備考		
			A	B	C	D	-	A	B	C	D	-	A	B	C	D	-			
p.70	7 障害者文化講座	福祉部 障がい者支援課	●																	

3. 就労支援・雇用促進

	事業名	担当課	H30年度					H31年度					R2年度					備考		
			A	B	C	D	-	A	B	C	D	-	A	B	C	D	-			
p.73	8 チャレンジオフィスいちかわ	総務部 人事課	●																	
p.73	9 雇用促進事業(障害者就労支援)	・雇用促進奨励金	経済部 商工振興課	●																
		・職場実習奨励金	経済部 商工振興課	●																
		・障害者就職面接会	経済部 商工振興課	●																

第3節 生活支援の充実 ～地域で暮らす～

1. 福祉サービス

	事業名	担当課	H30年度					H31年度					R2年度					備考		
			A	B	C	D	-	A	B	C	D	-	A	B	C	D	-			
p.77	10 高次脳機能障害者支援会議	福祉部 障がい者支援課	●																	
p.77	11 グループホーム等入居者家賃助成事業	福祉部 障がい者支援課	●																	

2. コミュニケーション・移動サービス

	事業名	担当課	H30年度					H31年度					R2年度					備考		
			A	B	C	D	-	A	B	C	D	-	A	B	C	D	-			
p.79	12 福祉タクシー事業	福祉部 障がい者支援課	●																	
p.79	13 NET119	消防局 指令課	●																	

計画第5章(p.60~107) 市川市障害者計画 <その他の事業>

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)

第7節 地域の理解・支援の促進 ～地域で支え合う～

1. 理解促進

	事業名	担当課	H30年度					H31年度					R2年度					備考		
			A	B	C	D	-	A	B	C	D	-	A	B	C	D	-			
p.99	28 市新規採用職員に関する研修	福祉部 障がい者支援課	●																	
p.99	29 市職員に対する研修・啓発	福祉部 障がい者支援課	●																	
p.99	30 福祉教育の推進	学校教育部 指導課		●																

2. 交流の機会・場づくり

	事業名	担当課	H30年度					H31年度					R2年度					備考		
			A	B	C	D	-	A	B	C	D	-	A	B	C	D	-			
p.101	31 地域ケアシステム推進事業	福祉部 地域支えあい課	●																	
p.101	32 里見祭ハートフルツアー	福祉部 障がい者支援課	●																	

3. 人材確保・育成

	事業名	担当課	H30年度					H31年度					R2年度					備考		
			A	B	C	D	-	A	B	C	D	-	A	B	C	D	-			
p.103	33 就労支援に関わる研修(再掲)	福祉部 障がい者支援課	●																	参照→<重点事業>第2節-3.
p.103	34 夏休み体験ボランティア実施事業	市民部 ボランティア・NPO課	●																	

4. ネットワーク形成

	事業名	担当課	H30年度					H31年度					R2年度					備考		
			A	B	C	D	-	A	B	C	D	-	A	B	C	D	-			
p.105	35 障害者団体連絡会運営支援	福祉部 障がい者支援課	●																	
p.105	36 市川障害児者相談支援事業所連絡協議会への支援	福祉部 障がい者支援課	●																	
p.105	37 日本郵便株式会社市川・行徳郵便局との地域における協力	福祉部 介護福祉課、障がい者支援課	●																	

計画第6章(p.108~144) 第5期市川市障害福祉計画・第1期市川市障害児福祉計画

成果目標 (p.108~114)

- ① **入所施設入所者の地域生活移行を進めます。**
グループホームなどの住まいの整備に加え、計画相談や地域相談支援のより一層の推進を図っていきます。
- ② **精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めます。**
「市町村における保健、医療、福祉関係者による協議の場」は設置済みであり、今後も精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めていきます。
- ③ **地域生活支援拠点等を整備します。**
平成32年度末までに1つ整備することを目指して検討を進めます。
- ④ **一般就労への移行を促進します。**
「障害者就業・生活支援センターいちされん」、「チャレンジオフィスいちかわ」、「就労支援担当者会議」を中心としたネットワーク化やハローワークと連携した企業への働きかけなど多様な取組みにより、一般就労への移行を促進します。
- ⑤ **障害児支援の提供体制を整備します。**
平成29年度に「保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場」を設置。今後も障がい児支援の提供体制の整備を図っていきます。

1 障害福祉サービス

(1) 訪問系サービス

- 現状
・居宅介護など全4項目で「A」評価。
- 課題
・重度障害者等包括支援のサービス提供事業者の不在。
・介護保険利用超過分としての利用希望の増加への対応。

(2) 日中活動系サービス

- 現状
・生活介護など7項目が「A」、自立訓練（機能訓練・生活訓練）及び就労定着支援が「B」評価。
- 課題
・就労定着支援、自立生活援助の事業者数の少なさ。

(3) 居住系サービス

- 現状
・共同生活援助、施設入所支援が「A」、自立生活援助が「B」評価。
- 課題
・共同生活援助の増加に対応するための世話人等の確保と人材育成。

2 相談支援

(1) 相談支援

- 現状
・計画相談支援、地域移行支援が「A」、地域定着支援が「B」評価。
- 課題
・相談支援事業所及び相談支援専門員の確保並びに質の向上。

3 地域生活支援事業

(1) 理解促進研修・啓発事業

- ・障害者週間に「Iあひフェスタ」を開催。

(2) 自発的活動支援事業

- ・手話通訳者及び要約筆記者を派遣して自発的活動の支援を実施。

(3) 相談支援事業

- ・基幹相談支援センター（大洲、行徳）及び「基幹相談支援センター運営協議会」の設置。

(4) 成年後見制度利用支援事業

- ・後見開始等の審判の請求（市長申立て）及び成年後見人等報酬助成の実施。

(5) 成年後見制度法人後見支援事業

- ・市民後見人養成講座修了者が法人後見支援員として活動（フォローアップ研修）。

(6) 意思疎通支援事業

- ・手話通訳者及び要約筆記者を市の窓口に配置するとともに、市民の依頼に応じて派遣。

(7) 日常生活用具給付等事業

- ・新たに人工鼻の給付を開始（平成31年1月～）。

(8) 手話奉仕員養成研修事業

- ・11名が手話奉仕員養成講習を修了。

(9) 移動支援事業

- ・事業所3ヶ所増加、利用者数・時間は横ばいで推移。

(10) 地域活動支援センター事業

- ・市内にⅡ型1か所（公立）を設置するとともに、Ⅲ型9か所に補助金を交付し運営を支援。

4 障害児通所支援等

(1) 障害児相談支援

- 現状
・受給者証（児童）発行件数1,082件に対し、相談支援事業所による計画作成は188件（17.4%）。
- 課題
・今後さらに相談支援事業所による計画数及び作成率を伸ばしていく必要がある。

(2) 障害児通所支援

- 現状（各項目の評価）

・児童発達支援	「A」
・放課後等デイサービス	「A」
・医療型児童発達支援	「C」
・保育所等訪問支援	「D」
・居宅訪問型児童発達支援	「評価なし」
- 課題
・児童発達支援、放課後等デイサービス
様々な法人が事業参入しているため支援の質にバラツキがある。
- ・医療型児童発達支援
利用者数の減少、事業所数の少なさ（市内には1箇所のみ）。
- ・保育所等訪問支援
有効な制度ではあるものの、事業所数が増えない。
- ・居宅訪問型児童発達支援
指定を受けている市内事業所の不在。

計画第6章(p.108~114) 第5期市川市障害福祉計画・第1期市川市障害児福祉計画 <成果目標>

① 入所施設入所者の地域生活移行を進めます。

・各年度末時点の施設入所支援の決定者数 (p.110)

	H28年度末	H29年度末	H30年度末	H31年度末	R2年度末目標
施設入所支援の決定者数	210人	201人	197人		205人

・平成28年度末時点における施設入所者数の9%以上が平成32年度末までに地域生活へ移行したかどうか (p.110)

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度目標	備考
入所施設からの地域生活移行者数 (累計数)	8人	16人	19人		19人	参照→重点施策(3)
(※ H28年度末時点の施設入所者数 = 210人)	(3.8%)	(7.6%)	(9.0%)		(9.0%)	

② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めます。

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度(見込数値)	備考
p.110 市町村における保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置	-	-	設置		設置	
p.111 精神科病院長期在院者数	239人	264人	239人		215人	参照→重点施策(3)

③ 地域生活支援拠点等を整備します。

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度(見込数値)	備考
p.112 地域生活支援拠点等の整備数	検討中	検討中	検討中		1㉓	参照→重点施策(3)

④ 一般就労への移行を促進します。

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度(見込数値)	備考
p.112 一般就労への移行者数	83人	94人	100人		125人	参照→重点施策(2)
p.112 就労移行支援事業の利用者数 (累計数)	885人 (53人(※1))	1,052人 (75人(※1))	1,323人 (88人(※1))		1,062人	参照→重点施策(2)
p.113 就労移行率30%以上を達成した就労移行支援事業所の割合	66.7%	53.8%	36.4%		50%以上	
p.113 就労定着支援事業による支援を開始した時点から1年後の職場定着率	-	-	100% (1人中1人)(※2)		80%以上	参照→重点施策(2)
p.113 年間一般就労移行率 (※3)	36.7%	-	34.3%		46.5%	参照→重点施策(2)

※1 …特別支援学校高等部3年生による、卒業後に就労継続支援B型事業所の利用を希望する際のアセスメント数。

※2 …調査時点：H31年3月末時点。

※3 …市内の就労移行支援事業所の利用者及び障害者就労支援センター「アクセス」の就職活動支援登録者のうち一般就労に移行した人の割合。

⑤ 障害児支援の提供体制を整備します。

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度(見込数値)	備考
p.113 児童発達支援センターの整備数	-	-	4カ所		4カ所	
p.113 一月に保育所等訪問支援を利用する児童の数	-	-	2人/月		6人/月	
p.114 重症心身障害児を受け入れる児童発達支援センター及び放課後等デイサービスの数	-	-	4カ所		4カ所	参照→重点施策(5)
p.114 保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場の設置	-	-	設置		設置	

計画第6章(p.115~144) 第5期市川市障害福祉計画・第1期市川市障害児福祉計画 <個別サービスの活動指標>

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)

1 障害福祉サービス

(1) 訪問系サービス

	サービス	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.118	居宅介護	513実人/月 11,215時間/月	517実人/月 11,180時間/月	A	531実人/月 11,352時間/月			549実人/月 11,490時間/月			
p.118	重度訪問介護	18実人/月 4,191時間/月	16実人/月 3,539時間/月	A	18実人/月 4,317時間/月			18実人/月 4,447時間/月			
p.118	同行援護	56実人/月 1,639時間/月	64実人/月 1,662時間/月	A	56実人/月 1,671時間/月			56実人/月 1,705時間/月			
p.118	行動援護	11実人/月 247時間/月	11実人/月 223時間/月	A	11実人/月 257時間/月			11実人/月 267時間/月			
p.118	重度障害者等包括支援	0実人/月 0時間/月	0実人/月 0時間/月	-	0実人/月 0時間/月			0実人/月 0時間/月			

(2) 日中活動系サービス

	サービス	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.121	生活介護	727実人/月 14,330延人日/月	754実人/月 14,036延人日/月	A	738実人/月 14,568延人日/月			750実人/月 14,806延人日/月			
p.121	自立訓練(機能訓練)	17実人/月 153延人日/月	6実人/月 53延人日/月	B	18実人/月 161延人日/月			19実人/月 169延人日/月			
p.121	自立訓練(生活訓練)	84実人/月 1,141延人日/月	54実人/月 716延人日/月	B	89実人/月 1,244延人日/月			94実人/月 1,346延人日/月			
p.121	就労移行支援	139実人/月 2,441延人日/月	178実人/月 2,800延人日/月	A	140実人/月 2,548延人日/月			141実人/月 2,654延人日/月			
p.121	就労継続支援A型 (雇用型)	133実人/月 2,595延人日/月	139実人/月 2,533延人日/月	A	146実人/月 2,855延人日/月			161実人/月 3,140延人日/月			
p.121	就労継続支援B型 (非雇用型)	420実人/月 7,459延人日/月	428実人/月 6,978延人日/月	A	436実人/月 7,829延人日/月			453実人/月 8,199延人日/月			
p.121	就労定着支援	103実人/月	49実人/月	B	114実人/月			125実人/月			
p.121	療養介護	14実人/月 432延人日/月	15実人/月 453延人日/月	A	14実人/月 445延人日/月			15実人/月 457延人日/月			
p.121	短期入所(福祉型)	170実人/月 849延人日/月	172実人/月 1,061延人日/月	A	187実人/月 888延人日/月			205実人/月 927延人日/月			
p.121	短期入所(医療型)	1実人/月 7延人日/月	3実人/月 13延人日/月	A	1実人/月 8延人日/月			1実人/月 9延人日/月			

(3) 居住系サービス

	サービス	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.123	自立生活援助	9実人/月	6実人/月	B	12実人/月			16実人/月			
p.123	共同生活援助	237実人/月	252実人/月	A	253実人/月			269実人/月			
p.123	施設入所支援	208実人/月	194実人/月	A	207実人/月			205実人/月			

計画第6章(p.115~144) 第5期市川市障害福祉計画・第1期市川市障害児福祉計画 <個別サービスの活動指標>

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)

2 相談支援

(1) 相談支援

	サービス	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.126	計画相談支援	545実人/月	645実人/月	A	585実人/月			625実人/月			
p.126	地域移行支援	5実人/月	4実人/月	A	5実人/月			5実人/月			
p.126	地域定着支援	39実人/月	24実人/月	B	39実人/月			39実人/月			

3 地域生活支援事業

(1) 理解促進研修・啓発事業

	事業	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.129	理解促進研修・啓発事業	実施	実施	A	実施			実施			

(2) 自発的活動支援事業

	事業	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.129	自発的活動支援事業	実施	実施	A	実施			実施			

(3) 相談支援事業

	事業	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.131	障害者相談支援事業	3箇所	3箇所	A	3箇所			3箇所			
p.131	基幹相談支援センター	2箇所	2箇所	A	2箇所			2箇所			
p.131	基幹相談支援センター等機能強化事業	実施	実施	A	実施			実施			
p.131	住宅入居等支援事業(居住サポート事業)	実施	実施	A	実施			実施			

(4) 成年後見制度利用支援事業

	事業	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.133	成年後見制度利用支援事業	実利用者数 15人	実利用者数 30人	A	実利用者数 16人			実利用者数 18人			参照 →重点施策(1)

(5) 成年後見制度法人後見支援事業

	事業	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.134	成年後見制度法人後見支援事業	実施	実施	A	実施			実施			

計画第6章(p.115~144) 第5期市川市障害福祉計画・第1期市川市障害児福祉計画 <個別サービスの活動指標>

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)

(6) 意思疎通支援事業

	事業	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.135	手話通訳者派遣事業 要約筆記者派遣事業	947延利用人/年 109実利用人/年	973延利用人/年 123実利用人/年	A	994延利用人/年 115実利用人/年			1,044延利用人/年 120実利用人/年			
p.135	手話通訳者設置事業	設置人数 4人	設置人数 3人	A	設置人数 4人			設置人数 4人			

(7) 日常生活用具給付等事業

	事業	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.136	介護訓練支援用具	年間延給付 44件	年間延給付 30件	-	年間延給付 50件			年間延給付 56件			
p.136	自立生活支援用具	年間延給付 59件	年間延給付 53件	-	年間延給付 58件			年間延給付 57件			
p.136	在宅療養等支援用具	年間延給付 47件	年間延給付 36件	-	年間延給付 48件			年間延給付 49件			
p.136	情報・意思疎通支援用具	年間延給付 62件	年間延給付 88件	-	年間延給付 65件			年間延給付 68件			
p.136	排泄管理支援用具	年間延給付 6,934件	年間延給付 7,516件	-	年間延給付 7,019件			年間延給付 6,979件			
p.136	住宅改修費	年間延給付 9件	年間延給付 5件	-	年間延給付 9件			年間延給付 8件			

(8) 手話率職員養成研修事業

	事業	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.137	手話率職員養成研修事業	実講習修了者 13人	実講習修了者 11人	B	実講習修了者 13人			実講習修了者 13人			

(9) 移動支援事業

	事業	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.138	移動支援事業	80箇所 582実人/年 延利用55,361時間/年	85箇所 563実人/年 延利用55,681時間/年	A	81箇所 586実人/年 延利用55,883時間/年			83箇所 590実人/年 延利用56,406時間/年			

(10) 地域活動支援センター事業

	事業	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.140	地域活動支援センターⅠ型	0箇所 平均実利用0人/日	0箇所 平均実利用0人/日	A	0箇所 平均実利用0人/日			0箇所 平均実利用0人/日			
p.140	地域活動支援センターⅡ型	1箇所 平均実利用8人/日	1箇所 平均実利用6人/日		1箇所 平均実利用9人/日			1箇所 平均実利用10人/日			
p.140	地域活動支援センターⅢ型	8箇所 平均実利用60人/日	9箇所 平均実利用65人/日		8箇所 平均実利用60人/日			8箇所 平均実利用60人/日			

計画第6章(p.115~144) 第5期市川市障害福祉計画・第1期市川市障害児福祉計画 <個別サービスの活動指標>

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)

4 障害児通所支援等

(1) 障害児相談支援

	サービス	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.143	障害児相談支援	124実人/月	97実人/月	A	162実人/月			200実人/月			

(2) 障害児通所支援

	サービス	H30年度			H31年度			R2年度			備考
		見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	見込量	実績	評価	
p.143	児童発達支援	289実人/月 3,276延人日/月	353実人/月 3,148延人日/月	A	308実人/月 3,717延人日/月			326実人/月 4,157延人日/月			
p.143	医療型児童発達支援	27実人/月 248延人日/月	16実人/月 98延人日/月	C	27実人/月 260延人日/月			27実人/月 271延人日/月			
p.143	放課後等デイサービス	660実人/月 5,817延人日/月	806実人/月 7,862延人日/月	A	733実人/月 6,657延人日/月			806実人/月 7,497延人日/月			
p.143	保育所等訪問支援	11実人/月 22延人日/月	2実人/月 4延人日/月	D	16実人/月 32延人日/月			20実人/月 40延人日/月			
p.143	居宅訪問型児童発達支援	1実人/月 4延人日/月	0実人/月 0延人日/月	-	2実人/月 8延人日/月			3実人/月 12延人日/月			

【1. 地域生活支援拠点等の整備とは・・・】

障がい児者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がい児者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築することです。

【2. 拠点整備をめぐる国の動向、市川市の状況】

拠点整備は国の指針において、平成29年度末までに各市町村又は各障害福祉圏域に少なくとも一つを整備することとされておりましたが、現在は、第5期障害福祉計画期間中（平成30～32年度）の整備が求められており、市川市では「第3次いちかわハートフルプラン（平成30～32年度）」において、平成32年度（令和2年度）までに1つを整備することを目標としています。

【3. 拠点に整備する5つの機能】

①相談

相談支援事業所などにコーディネーターを配置し、緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録したうえで常時の連絡体制を確保し、緊急の事態等に必要なサービスのコーディネート（総合調整）や相談、その他必要な支援を行う機能。

②緊急時の受入れ・対応

短期入所施設やレスパイト施設などを活用した常時の緊急受入体制等を確保したうえで、介護者の急病や障がい児者の状態変化等の緊急時の受入れ、医療機関への連絡等の必要な対応を行う機能。

③体験の機会・場

地域移行支援や親元からの自立等にあたって、共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能。

④専門的人材の確保・養成

医療的ケアが必要な者や行動障がい有する者、高齢化に伴い重度化した障がい者等に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保や専門的な対応ができる人材の養成を行う機能。

⑤地域の体制づくり

基幹相談支援センター、相談支援事業所などを活用してコーディネーターを配置し、地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能。



市川市においては、自立支援協議会との協議・検討を重ねた結果、まずは「①相談」と「②緊急時の受け入れ・対応」の機能整備を目指すこととしています。

【4. コーディネーターの役割（コーディネーター委託の内容）】

【コーディネーター】



- ①委託先：市内に相談支援事業所を持つ法人
- ②発注方法：障害区分（身体・知的・精神）別に3つの法人へ発注

《コーディネーター委託の概要》

- ①業務に従事する代表者
専門的な支援に対応するため、相談支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師またはこれらに順ずる有資格者とします。
- ②業務実施場所
業務を受託した法人の事務所などを予定。
- ③業務実施時間
年間1,088時間（136日×8時間）を予定。
- ④その他
受託者は年4回以上、市と連絡会議を予定。

＜役割① 緊急に至ることを防止するための支援（緊急時支援前業務）＞



緊急支援が必要となるリスクが高い障がい児者世帯（介護者が高齢・病気がちななど）を把握し、訪問・面談等によって障害福祉サービスやグループホームの利用を促すなど、緊急に至ることを防止するための支援を行う。

＜役割② 緊急の際の支援（緊急時支援業務）＞



在宅の障がい児者世帯で、介護者が事故・病気など緊急の理由で一時的に介護ができない場合に障がい児者を施設に受入れるための支援を行う。
※障がい児者、受入施設、支援員などとの連絡・調整を実施。

＜役割③ 緊急受入後の支援（緊急時支援後業務）＞



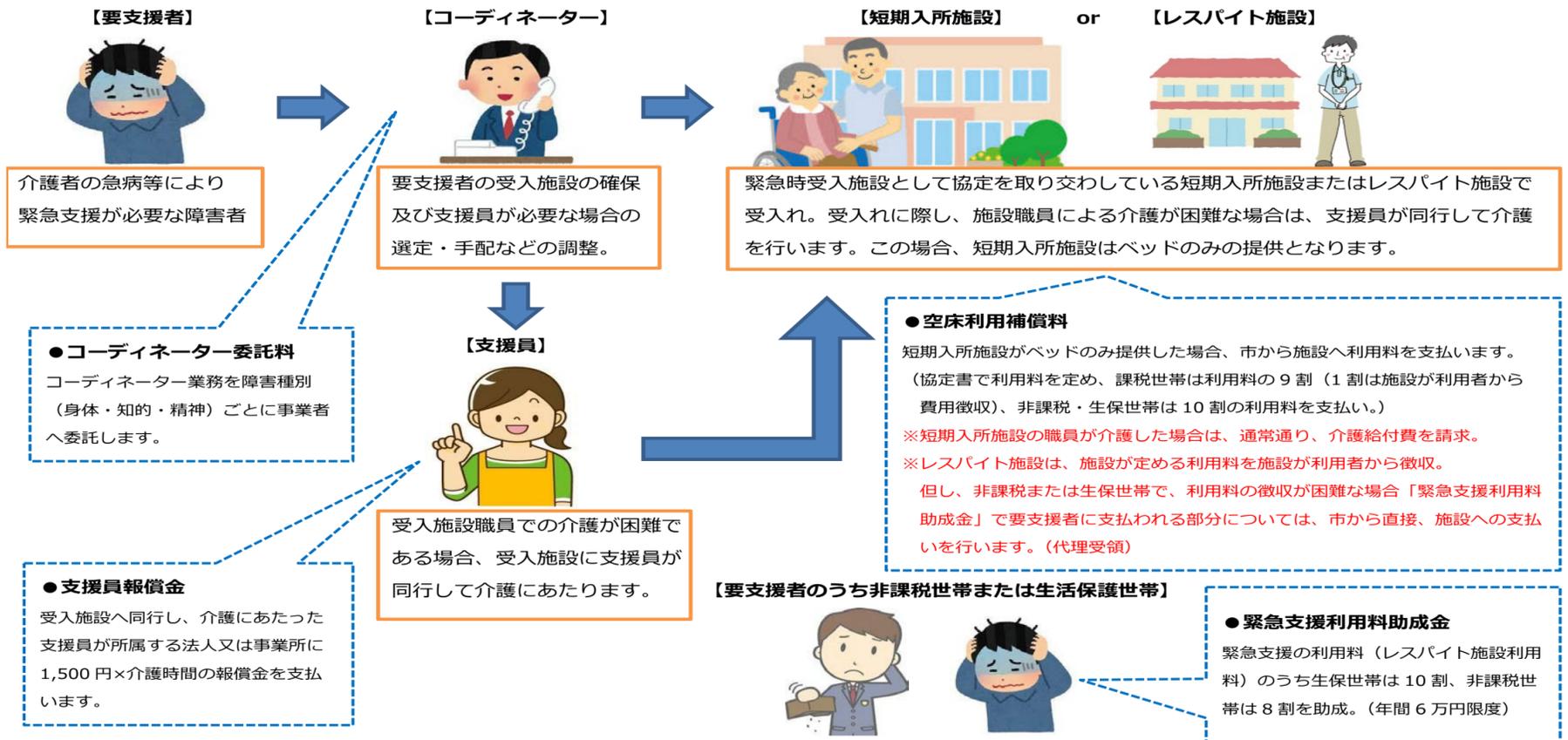
緊急受入を行った障がい児者が、地域での生活に復帰するため支援を行う。
※必要に応じて、相談支援員を付けるとともに障害福祉サービスの利用につなげるなど、緊急状態から早急に平常への転換を図る。

＜役割④ 市域における緊急時の支援体制づくり＞



受入施設となる短期入所施設などの空き状況や緊急受入後の支援に活用が見込まれる相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、入所施設などの状況を把握するとともに、関係機関や事業所との連携体制を構築する。

【5. 緊急時支援のフローと関連予算】



【日 時】：令和元年10月21日（月） 午前1時30分～3時30分
【場 所】：急病診療・ふれあいセンター2階 第1集会室
【出席者】：（メンバー）朝比奈 近藤 武田 小原 高木 西村 木下 山崎
保戸塚
（えくる）長坂 松尾 芦田
（事務局）野口 沓澤 夏見 石田
（傍 聴）なし 合計16名

【議 事】：1 開会
2 実績報告・課題検討
3 閉会

【主な意見・提案】：

- 1 地域にある相談機能（サービス管理責任者等）への働きかけ
- 2 高サポとの連携、8050世帯への介護と障害の連携
- 3 措置入院退院者への支援
 - 基本的には保健所主導で支援計画の作成を行う。期限は原則、退院後6ヶ月。退院前から調整は行うが、どこにも繋ぐことができないケースの繋ぎ先として「えくる」を想定。H30.11-3の5ヶ月間で通報15件、うち措置入院となったもの5件、保健所の検討の結果、要支援となったもの2件、同意が得られたもの1件。今年度上期では、それぞれ44件、26件、8件、1件となっている。
 - 現時点で精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業とは関連していない。今後、県で検討していく予定。
- 4 虐待防止センターにおける対応フローの確認
 - マニュアルに定める帳票類について作成者を定める必要があるのでは。
 - 作成された帳票類を根拠に、ケースの進行管理や判断（虐待対応の終結や一般の相談への移行）が説明できなければならない。
 - 虐待防止センターと基幹相談支援センターの両者の看板を掲げているメリットを活かすべき。
 - マニュアルの対応フローについて、特に行政と基幹相談支援センターのお互いの役割分担について、再度確認し、フローを見直す必要がある。
 - ケースの進行管理や情報共有について、クラウドや介護保険

課で導入しているカナミックなどを活用できないか。

5 セルフプラン率について

- 県内におけるセルフプラン率が一番高い状況。
- 行政としては、サービスの複数利用や困難家庭などは計画相談を勧めているが、最終的には本人及び家族の判断となる。
- 基幹相談支援センターの設立の経緯（前身が基幹型支援センター）から、ケース対応に比重が置かれ、相談支援事業所へのバックアップ体制が不十分な状況により、基本相談の部分が軽減できない現状があるのではないか。
- 国や県の考える基幹型支援センターと「えくる」のイメージに相違があるのでは。拠点の整備と横並びで、「えくる」の役割を考える必要がある。

部会開催日：9/12,10/10

(1) 連絡事項

- 障がい福祉サービスに係る区分認定・支給決定の有効期間の取り扱い変更説明
- 障がい福祉サービス・障害児通所支援等 事業所移動リスト説明
- 台風 15 号による被害状況共有

(2) 相談支援部会関連会議からの報告 別紙参照

- ①市川障害児者相談支援事業所連絡会
- ②権利擁護連絡会
- ③精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業
アンケート調査結果より：退院の見込み有無ごとの長期入院理由：退院の見込みなし 146 人が
人中 76 人が「居住がないため」と回答
- ④高次脳機能障害児者サポート会議
- ⑤拠点 WG
コーディネーター業務委託仕様書案、業務委託受託意向調査実施、レスパイト事業について関係法人に対し説明会実施

(3) 今年度の取組について

- ガイドライン改訂 ⇒ 追加、削除、修正部分の説明
- ガイドライン研修 ⇒ プログラム案確認し必要時、修正後開催案内発送
- 後見制度後援会
修正チラシ確認、当日の運営及び流れの確認
川端専門官に講演内容に盛り込んで頂きたい内容を検討
- セルフプラン率の改善について
 - ・精神の方のセルフプラン率
精神 セルフプラン率 40.4%348 件（成人）・91.5%185 件（児童）…約 4 割
モニタリング率毎月、2 ヶ月、3 ヶ月合わせて 80%程度
⇒計画相談がマンパワー的な問題で付けられていない方について優先課題と思われる
えくる相談者におけるセルフプラン率のデータの蓄積をしてみたい
当事者は必要性を感じていないが、サービス事業者より計画相談の相談が増えている
 - ・モニタリング頻度が 3 ヶ月より頻回
 - ・相談支援専門員の整備を市の施策の一つとして考える
 - ・児童については親の思想的にセルフが良いという意見もある
 - ・柏市と置かれている状況は似ている
違う所は、基幹—委託—特定相談の 3 層構造部分の“委託”が市川にはない
 - ・相談支援専門員の困難ケース対応により件数を増やせない状況
バックアップや困難ケース等に対する相談をえくるにできない（繁忙さを知り得ている為）
⇒柏市への聞き取りについて和洋女子大の高木先生へ相談

【研修会】

テーマ：『市川市の相談支援を考える』 講師 和洋女子大学准教授 高木 憲司 氏
日時：令和元年10月24日（金）10：30～12：00
場所：全日警ホール 第3会議室
参加者：29名

【幹事会】

日時：令和元年11月6日（水）14：00～
場所：急病・診療ふれあいセンター3F
議題：各担当より報告・連絡
・幹事会ぶっちゃけ会担当→9月27日開催のぶっちゃけ会の報告
・研修担当より→10月24日研修会の報告及び12月4日研修会について確認
・事業所ツアー担当より→2月5日（水）実施についての内容確認
会長より→グループホーム空きについての情報提供
事務局より→11月29日情報交換会について確認

【今後の予定】

○情報交換会

日時：令和元年11月29日（金）15：00～17：00
場所：I-link ルーム 市川市市川南1-1-1 ザタワーイースト3F
議題：（1）基幹相談支援センター「えくる」より情報提供
（2）市川市より情報提供
・地域生活支援拠点事業について
（3）相談支援についての質疑応答
・相談支援に関する要望、課題について市川市からの回答及び質疑応答
※情報交換会終了後、懇親会（大ぶっちゃけ会）実施

○研修会

テーマ：「連携するってどういうこと？」
日時：令和元年12月4日（水）10：30～12：30
場所：全日警ホール 第3会議室

○幹事会

日時：令和2年1月15日（水）14：00～
場所：急病・診療ふれあいセンター3F

以上

1. 定例会報告

- ・日時 9月3日 午後1時～3時 全日警ホールにて
- ・参加者 社協後見担当相談室3名 家族会4団体12名
- ・内容
 - ① 後見担当相談室の現況報告
千葉家裁市川出張所より初めて市民後見人として1名が、選任された。
市民後見人と社協の法人後見との複数後見で活動をする。今後も選任を増やしていきたい。
 - ② 後見セミナーへの準備

2. 市川圏域地域相談員研修会

- ・日時 9月26日 10時～1時 市川健康福祉センター
- ・内容
 - ① 差別相談事例を通して、相談活動のあり方を考える。
 - ② 圏域での30年度相談件数について。今後の広報のあり方について。
圏域では16件、千葉県全体でも135件で、相談件数の減少傾向が続いている。

3. 「障害のある人と家族にとっての8050問題を考える」研修会 市川手をつなぐ親の会主催

- ・日時 10月2日 10時～1時 全日警ホールにて
- ・内容
 - ① 講演 全日本手をつなぐ育成会連合会会長 久保厚子氏
 - ② シンポジウム 「市川における8050問題をどう考えていくか」
講師 市川市障がい者支援課課長高橋さん、えくる芦田さん、一路会嶋田さん、
コーディネーター いちばん星森田さん
 - ③ 8050問題をこれからどう考えていくか。(総括として)
 - ・8050問題を抱えた家族と本人の数の把握が必要。それに伴い住まいの場をどう確保するかを把握する必要。
 - ・8050問題を抱えた家族と本人に、計画相談を優先的につけ、将来について具体的な話しをする必要。
 - ・高齢家族で計画相談が使えない就労している人や在宅の人に、定期的な見守りと相談を。
 - ・地域生活拠点の整備がかかせない。等。

4. 「いのち輝く後見制度を目指して」講演会 市川市・社協主催

- ・日時 11月15日 10時～12時半 グリーンスタジオにて
- ・講演 最首悟氏

5. 今後の予定 12月3日定例会 2020年3月5日後見制度についての講演会基礎編。

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業からの報告

第 2 回 実務者会議

日時：8 月 23 日 (金)

出席者：式場病院、中山病院、国府台病院

中核、市川市基幹

指定一般相談支援事業所 市川市内 5 事業所 (うち 1 事業所欠席)

市川市障がい者支援課、介護福祉課

千葉県障害者福祉推進課 (欠席)、精神保健福祉センター、市川保健所

内容：①長期入院アンケート調査結果について

②事例の紹介 (地域移行支援を利用して退院し、退院後 1 年間障害と介護を併用したケース)

③市川の社会資源についてグループワーク

長期入院アンケート調査結果について (圏域内の病院にて 1 年以上入院の方が対象)

- ・式場病院入院中の市川市民 49 名
 - ・中山病院入院中の市川市民 139 名
 - ・国府台病院は 1 年以上の入院者はなしとのことでアンケート調査は未実施
- ※調査結果の詳細は別紙資料『市川・浦安圏域 長期入院アンケート集計結果』参照のこと

グループワークで出た意見

⇒アンケート結果を踏まえて、どのような仕組みやサービスがあれば、退院の促進となるのか、退院が進んでいかない理由は何なのか、市川の社会資源も照らし合わせて考えてみた

- ・精神障害だけでなく、知的障害や自閉症、身体障害など重複している方の住居、通所ともに受け皿を見定めづらい
- ・生活能力は病院では見極められなく、生活の評価や練習が出来る体験ホームのような所があるといい (アセスメントが出来る場所)
- ・グループホームの体験利用をする際に、限定的にハイサポートで体験を出来る場所があれば、最初のステップとして送り出しやすい
- ・入院中から本人が外出出来る機会を作りたいが、福祉サービス上も地域の支援上も少ないので、外出の手立てが増えると本人の動機づけに有効ではないか

- ・地域移行支援をいつ開始し、半年間でどう退院を進めるのか期間的な難しさも感じ、医療側と地域側での共有が必要では
- ・市内のアパートが以前よりも借りにくくなっている印象もある
- ・貸し手の不動産屋を支えるための体制作りも必要では
- ・地域定着支援の緊急への対応、24時間365日の負担を助け合える体制があるとよい
- ・65歳以上の生活保護受給者が入れる施設がない、足りない

第3回 実務者会議

8月は市川版で開催したので、9月は浦安版で開催した

日時：9月6日（金）

出席者および内容については、市川版と似たかたちで

第2回、第3回 実務者会議のその後

長期入院アンケート結果では…

式場病院…退院の見込みあり 市川市民 22名

中山病院…退院の見込みあり 市川市民 20名

※『退院の見込みあり』のケースを掘り下げるため、式場病院と中山病院に基幹と保健所と訪問相談予定

うち…

えくるとサンワークでそれぞれの病院に訪問し、現段階で退院に向けて準備の話や、地域移行支援の話が出来るケースとして実際にあがってきたのが

式場病院…6名ほど

中山病院…7名ほど

⇒個別に訪問し、ケースの掘り下げを行っていく

今後、次回について

次回の実務者会議（市川、浦安共同）を11月15日（金）実施予定

市川・浦安圏域 長期入院アンケート集計結果

令和元年6月30日現在

サンワーク相談支援事業所

資料 長期入院アンケート集計結果

長期入院患者数

式場病院:58名 市川市民:49名 浦安市民:9名
 中山病院:148名 市川市民:139名 浦安市民:9名

(病院別)	20歳台	30歳代	40歳台	50歳代	60歳～64歳	65歳以上	合計
式場病院		5	9	9	11	24	58
市川市		2	7	7	10	23	49
浦安市		3	2	2	1	1	9
中山病院	1	1	9	18	14	105	148
市川市	1	1	8	13	14	102	139
浦安市			1	5		3	9
	1	6	18	27	25	129	206

(市民別)	20歳台	30歳代	40歳台	50歳代	60歳～64歳	65歳以上	合計
市川市	1	3	15	20	24	125	188
式場病院		2	7	7	10	23	49
中山病院	1	1	8	13	14	102	139
浦安市	0	3	3	7	1	4	18
式場病院		3	2	2	1	1	9
中山病院			1	5		3	9
	1	6	18	27	25	129	206

市民別入院期間

	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
市川市	57	47	40	43
式場病院	17	13	9	10
中山病院	40	34	31	33
浦安市	11	3	4	0
式場病院	6	2	1	0
中山病院	5	1	3	0

	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
市川市	57	47	40	43
20歳台	1			
30歳代	1	1	1	
40歳台	8	4	3	
50歳代	4	5	8	3
60歳～64歳	7	6	3	7
65歳以上	36	31	25	33
浦安市	11	3	4	
20歳台				
30歳代	2	1		
40歳台	2		1	
50歳代	4	2	1	
60歳～64歳			1	
65歳以上	3		1	

疾患

疾患	市川市	浦安市
統合失調症	85	12
うつ病	2	
双極性障害	4	
知的障害	1	
発達障害		
薬物・アルコール依存		
認知症	36	3
上記以外	6	1
統合失調症,知的障害	5	1
統合失調症,知的障害,発達障害	3	
統合失調症,発達障害	2	
統合失調症,薬物・アルコール依存	1	
統合失調症,認知症	30	
統合失調症,上記以外	1	
うつ病,認知症	1	
双極性障害,知的障害	2	
双極性障害,知的障害	1	
双極性障害,認知症	6	
知的障害,発達障害		
薬物・アルコール依存,認知症	2	1

退院の見込み

式場病院	退院の見込みあり	退院の見込みなし	合計
市川市	23	35	58
浦安市	22	27	49
中山病院	1	8	9
市川市	23	125	148
浦安市	20	119	139
浦安市	3	6	9
	46	160	206

退院の見込み(年齢別)

市川市	退院の見込みあり	退院の見込みなし	合計
20歳台	42	146	188
30歳代	1	1	2
40歳代	1	2	3
50歳代	3	12	15
60歳～64歳	5	15	20
65歳以上	6	18	24
浦安市	27	98	125
浦安市	4	14	18
20歳台			0
30歳代		3	3
40歳代		2	2
50歳代	1	6	7
60歳～64歳	1	1	2
65歳以上	2	2	4
	46	160	206

退院の見込み有無ごとの長期入院の理由(複数回答可)

退院の見込みあり(全体:46人 市川市:42人 浦安市:4人)

	精神状態が極めて重症 または不安定なため	本人に退院の意欲が ないため	家族が退院を反対して いるため	住居がないため	退院に向けた支援が ない(足りない)ため	その他
市川市	9	19	14	20	3	10
浦安市	1	2	1	3		1
総計	10	21	15	23	3	11

退院の見込みなし(全体:160人 市川市:146人 浦安市:14人)

	精神状態が極めて重症 または不安定なため	本人に退院の意欲が ないため	家族が退院を反対して いるため	住居がないため	退院に向けた支援が ない(足りない)ため	その他
市川市	138	37	69	76		14
浦安市	12		5	1		2
総計	150	37	74	77		16

退院の見込み有無ごとの地域の支援者に(複数回答可)

退院の見込みあり(全体:46人 市川市:42人 浦安市:4人)

	来院の上でぜひ本人に 対し支援を進めてほしい	病院スタッフがまずは 支援について相談したい	現時点では退院に 向けた相談は難しい	退院支援がなくても退院 は可能であるため不要	定期的な情報交換を 希望したい
市川市	4	16	6	10	5
浦安市	1		1	1	1
総計	5	16	7	11	6

(年齢別)

	来院の上でぜひ本人に 対し支援を進めてほしい	病院スタッフがまずは 支援について相談したい	現時点では退院に 向けた相談は難しい	退院支援がなくても退院 は可能であるため不要	定期的な情報交換を 希望したい
市川市	4	16	6	10	5
20歳台					
30歳代					
40歳台		1	1	1	
50歳代	1	4			
60歳～64歳	2	1	1	1	1
65歳以上	1	10	4	8	4
浦安市	1	0	1	1	1
20歳台					
30歳代					
40歳台	1				
50歳代					1
60歳～64歳					
65歳以上			1	1	
総計	5	16	7	11	6

6

退院の見込み有無ごとの地域の支援者に(複数回答可)

退院の見込みなし(全体:160人 市川市:146人 浦安市:14人)

	来院の上でぜひ本人に 対し支援を進めてほしい	病院スタッフがまずは 支援について相談したい	現時点では退院に 向けた相談は難しい	退院支援がなくても退院 は可能であるため不要	定期的な情報交換を 希望したい
市川市		10	132	1	3
浦安市		3	11		
総計	0	13	143	1	3

(年齢別)

	来院の上でぜひ本人に 対し支援を進めてほしい	病院スタッフがまずは 支援について相談したい	現時点では退院に 向けた相談は難しい	退院支援がなくても退院 は可能であるため不要	定期的な情報交換を 希望したい
市川市	0	10	132	1	3
20歳台					1
30歳代		1	1		
40歳台		4	7		1
50歳代		2	13		
60歳～64歳		3	15		
65歳以上			96	1	1
浦安市	0	3	11	0	0
20歳台					
30歳代		1	2		
40歳台			2		
50歳代		2	4		
60歳～64歳			1		
65歳以上			2		
総計	0	13	143	1	3

『市川・浦安圏域 長期入院アンケート集計結果』の補足説明

- ・資料 1～2 ページ目は、長期入院患者数の病院別、市民別、また年代別かつ入院期間が分かる表となっている。
⇒市川市民の方は、1年以上～5年未満の方が 57 名、5年以上～10年未満の方が 47 名、10年以上～15年未満の方が 40 名、20年以上の方が 43 名となっており、1年以上～5年未満の方が若干多くはあるが、それ以外の期間はほぼ同じような人数となっている。
年齢別にみると特に市川市民の場合は 65 歳以上の方がかなり多いことが見てとれる。
- ・資料 3 ページでは長期入院をされている方の疾患別に分けて集計している。
⇒統合失調症の方が多く、統合失調症とその他の疾患を併発している方を含めると 140 人にもなっている（全体の 7 割弱）。2 番目に多いのは認知症となっており、統合失調症と併発している疾患で一番多いのも認知症となっている。
- ・資料 4 ページでは退院の見込みについて書かれている。
⇒式場病院は 23 名、中山病院は 23 名で合わせて 46 名の長期入院をしている方が退院の見込みありとなっている。また 46 名のうち 29 名の方が 65 歳以上の方となっている。
- ・資料 5 ページ目は退院の見込みの有無ごとに長期入院の理由を集計した表となっている。
⇒退院の見込みありの方の約半数の方が「本人の退院の意欲がないため」「住居がないため」という理由が多くなっている。見込みありの方でその他の理由としては「家族となかなか連絡が取れない」「自宅での引き取り困難」など家族関係の問題が多いことが数字として出ていた。
退院の見込みなしの方では「精神状態が極めて重症または不安定なため」という理由が 160 人中 150 人と多くを占めており、「家族が退院を反対しているため」「住居がないため」という理由が続いている。
- ・資料 6～7 ページ目では退院の見込みの有無ごとに地域の支援者に望んでいることを集計している。
⇒退院の見込みありで「退院支援がなくても退院は可能であるため不要」が 11 件あるが、そのうち 8 件は特別養護老人ホームや介護老人保健施設に申し込み予定のため支援不要となっている。

高次脳サポート会議

今年度の主な取り組みの整理

- ①昨年度、相談支援部会 GSV であがった課題についての取り組み（周知と研修）
- ②介護保険 2 号保険者の高次脳機能障がいの方が利用している・利用できるデイサービス等のアンケート調査と、結果の公表
- ③高次脳機能障がいの方の事例検討

①周知について

相談支援部会 GSV において、相談支援専門員から「高次脳に関する事例を相談する場が地域にない。」との意見があがったため、高次脳サポート会議が地域の中でより有効に活用されるよう、再度周知を行っていく。

周知先案：Is-net 各高齢者サポートセンター 介護支援専門員（介護福祉課）等

※Is-net においては Is-net 情報交換会にて時間を設けてもらえないか相談していく

他にも連絡会等を使えないか検討

②研修について

今年の相談支援ガイドライン研修 2 日目のテーマが「介護保険 2 号保険者について」ということもあり、ガイドライン研修にて、アンケート結果の公表と、市川市における支援の実態などについての研修を行う。

③アンケートについて

昨年度行った障害福祉サービス事業所へのアンケート内容をもとに、今年度は介護保険 2 号保険者の高次脳機能障がいの方が利用している・利用できるデイサービス等の調査を行っていく。

具体的な配布方法等については高サポや介護福祉課に相談し検討していく。

スケジュール

		テーマ 1	テーマ 2
5/28	高次脳サポート会議	事例検討	
【済】			
7/23	高次脳サポート会議	事例検討	①今年度のアンケートについて ②相談支援ガイドライン研修について
【済】			
9/24	高次脳サポート会議	事例検討	①アンケート内容・項目等の確認 ②市内の状況の共有
【済】			
	（予定）アンケートの配布と回収		
11/26	高次脳サポート会議	事例検討	①アンケート配布状況の報告
12 月	（予定）12/1～12/20 アンケートの集計		
1/17	高次脳サポート会議は 休み	1/17 相談支援ガイドライン研修 2 日目にてアンケートの報告と、「高次脳機能障がいの支援について」を検討	
3/24	高次脳サポート会議	事例検討	①来年度の取り組みについて

[] はアンケートに関する項目

I 生活支援部会の開催概要 及び 生活支援部会における課題と課題に対する取り組み状況

0 開催概要	
11/12	<p>部会④</p> <p>① 関連会議等からの報告</p> <p>② 障害者週間実行委員会報告 ・12/8、9 の実施に向けて、本日 11/12 最終委員会</p> <p>③ 啓発活動(ハートフルツアー) 報告 ・新たな参加者が二組(親子/視覚障害者) 計 9 名参加 ・今後、参加者と学生双方からの感想が集まる予定</p> <p>④ 拠点ワーキングより報告 ・コーディネーターの委託先については調整中 ・1/22 に市が事業者向け説明会を開催</p> <p>⑤ 来年度の部会について ・今年度と同様、年 6 回開催予定</p> <p>⑥ その他 ・自立支援協本会の提出資料のフォーマットについて ・県の第七次障害者計画に関わるヒアリング調査について ・新規事業所情報等の共有 ・イベント等情報共有</p>
1 課題・問題意識	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活拠点について、相談支援事業所、その他事業所の協働の体制作り ・次に取り組む拠点の機能について検討する場をどのように持つか ・人材確保 ・障害当事者の高齢化に伴う制度移行、支援スキル (セルフプランの方、障害福祉サービス未利用の方への介護保険情報の周知が困難か?) ・今後の部会のあり方 ・松の木会(精神障害者の家族会)の会員減少 	
2 短期的目標	
3 中・長期的目標	
4 上記1を裏付けるデータ	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内に医療的ケアの必要な方が利用できる短期入所がない ・自立のための宿泊体験を行う場がほとんどない(身体、精神) 	
5 上記1に対する方策・取組	

6 取組の成果	
7 本会議や他部会・関連会議体に求めるもの	・人材確保、啓発活動を協議会全体のテーマとして取り組む方法の模索
8 その他	

II 関連会議の開催概要

1 日中活動連絡会		
11/26	見学会	「すがの親愛の家 すがの親愛ホーム」(小規模多機能 グループホーム)
12/23	定例会	千葉県障害者計画策定に係る関係団体等ヒアリングについて
2 グループホーム等連絡協議会		
10/24	全職種合同勉強会	「日頃から防災対策を考える」 講師:ロザリオの聖母会 荒井 隆一氏
12/4	第2回世話人勉強会	「食事について語ろう」 話題提供者: GH 等連絡協議会幹事会
3 居宅支援連絡会		
10/9	情報交換会	現場で起こっている疑問や共通に認識しておくことを検討する。 (予定していたが、出席者が集まらず延期)
4 重心サポート会議		
9/30	定例会	台風等被害について、お泊りどれみ報告、医ケア児等アンケート報告
10/17	研修会	医療的ケア・喀痰吸引について
11/11	定例会	研修報告、地域生活支援拠点について 等

○就労支援担当者会議

1. 就労支援事業所案内作成…各事業所にフォームを送信し作成中
完成次第、各相談支援機関に配布予定
2. B型アセスメントについて…評価表の見直し、評価表の行先について
3. 就労支援部会研修(3/13)…多国籍問題、高齢化等、家族支援の連携方法

※その他

意見交換…公的機関への支援について

障がい者雇用ビジネスへの対応について

千葉県教育委員会の雇用について

情報共有…就労パスポートについて(HWより)

○福祉的就労担当者会議からの報告

1. お仕事情報の共有
現在、3件～5件の共同受注作業が進行中
商工会議所会報誌の宣伝で1件 問い合わせがあり
2. 事業所見学会
福祉的就労担当者会議出席の事業所や、見学受け入れ可能な事業所への見学をし
福祉的就労担当者会議で参考になる部分を共有しスキル向上を目的に計画中
3. 就労促進フォーラムへの協力
4. 事例検討会の開催

I こども部会の開催概要 及び こども部会における課題と課題に対する取り組み状況

0 開催概要		
10/11	部会①	① 各関係機関から現状と課題報告 ② 災害時の避難所開設等について情報共有 ③ 相談窓口機関からの報告(保健センター・子育て支援課)
1 課題・問題意識		
配慮を要する子どもと子育て家庭への支援		
2 短期的目標		
子育て相談や情報提供の充実 虐待防止・対応のための取り組みの充実		
3 中・長期的目標		
子どもの権利保障のための取り組みの充実 子どもの居場所の充実 セルフプラン率の低減		
4 上記1を裏付けるデータ		
・児童虐待数の増加 ・医療的ケア児が使える社会資源の不足 ・セルフプラン率 82.4%		
5 上記1に対する方策・取組		
6 取組の成果		
7 本会議や他部会・関連会議体に求めるもの		
8 その他		

II 関連会議の開催概要

1 障害児支援連絡会		
10/4	連絡会②	事例検討会 事業所に対応しているケースについて、グループワークを実施、具体的な対応について意見交換を実施。
2 医療的ケア児連絡会		

I 障害者団体連絡会の開催概要 及び 障害者団体連絡会における課題と課題に対する取り組み状況

O 開催概要		
9/14	第2回障害者団体連絡会	<p>【報告事項】</p> <p>①令和元年度市川市総合防災訓練 8/25 11 団体 40 名が参加しアンケート回収</p> <p>②障害者週間 ・12/7 販売、体験コーナー スタンプラリー ・12/8 ステージパフォーマンス等 ・アイワングランプリ</p> <p>③バリアフリーハンドブックの改訂(29/3 作成)・・・市の補助金を使用</p>
11/13	第3回障害者団体連絡会	<p>【勉強会】</p> <p>①直近の台風などによる災害への対応について・・・地域防災課長 ②県内における被災地の状況などによる(ボランティア参加して)どのように対応すべきか・・・市川市社協</p> <p>【報告事項】</p> <p>①バリアフリーハンドブックの改訂について ・市川市障害者団体連絡会補助金を活用 ・市川市内小学校の生徒を中心として配布する ・3 月末までに完成させる</p> <p>②障害者週間 ・12/7 販売、体験コーナー スタンプラリー ・12/8 ステージパフォーマンス等 ・アイワングランプリ(11/12～11/17)</p> <p>③11/14 和洋女子大「地域生活創造演習-防災・減災女性リーダー養成講座-」高齢者、障がいのある方への支援について・・・講師 4 名派遣</p>

1 課題・問題意識	
防災についての意識の向上を目指す	
2 短期的目標	
地域防災課、障がい者支援課との打合せの実施	
3 中・長期的目標	
災害時のマニュアルへの反映	
4 上記1を裏付けるデータ	
5 上記1に対する方策・取組	
6 取組の成果	
7 本会議や他部会・関連会議体に求めるもの	
8 その他	

1 課題・問題意識	
障害の特性について知ってもらう	
2 短期的目標	
3 中・長期的目標	
それぞれの障害特性について市民の理解を得る	
4 上記1を裏付けるデータ	
5 上記1に対する方策・取組	
6 取組の成果	
7 本会議や他部会・関連会議体に求めるもの	
8 その他	

さとみ

No. 134



発行：市川市ろう者協会 発行人：浅野史行 編集：広報部
〒272-0023 市川市南八幡2-24-19(朝香敬子方) 市川市ろう者協会事務局
FAX: 047-711-2265 mail: asahi0485@gmail.com

本年度も市川市との話し合いを実施

8月19日(月)の夜7時から市役所仮本庁舎4階委員会にて、本年度の当協会と市障害者支援課との話し合いが行われました。

当夜の出席者は次の通りです(敬称略)。

- ・ろう協
浅野、植野、朝香、大下、平野、浅野里、
荒川(輪の会)、天野(輪の会)、板橋(輪の会)
計9名
- ・障がい者支援課
高橋課長、野口主幹、藤代、奥山(設置)、
松岡(設置) 5名
- ・手話通訳者 2名 計14名

本年度の要望の内容は次の通りです；

- (1) 市川市手話言語条例の制定
- (2) 市の手話通訳者等派遣要綱の厚労省モデル要綱と同内容のものへの改正
- (3) 市民手話教室
(昨年度同様に15回の実施)
- (4) 手話通訳者の処遇改善
(設置通訳者の時給の改善)
- (5) 手話通訳者派遣依頼の方法について
(スマートフォンからの依頼ができないか)
- (6) 防災訓練の方法や内容について
- (7) 自治会での学習会について
(情報障害者としてのろう者に対する理解啓発の場を市は配慮してほしい)

(1)は毎年市に要望しているものですが、市川市としては、千葉県の手話言語条例には市町村の役割が明記されているので県の条例に沿った形で聴覚障害者への支援を行っていくとの回答です。(2)については厚労省のモデル要綱に



ある運営委員会の形ではないが、通訳者とうろう協との意見交換の場として、今年2月に続いて9月の手話通訳者会議の後でろう協三役が出席することになっています。

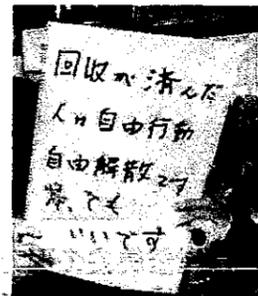
(3)の市民手話教室については、来年度もこれまで同様に15回で開催されるように努めるとのこと。(4)に関しては、この4月より設置通訳者の処遇が改善(時給アップ)されています。

(6)(7)に関して、8月25日に市の総合防災訓練が行われ、市の障害者団体連絡会加入団体であるろう協も避難所開設訓練などに参加しました。今回は避難所における視覚的な情報提示の配慮など、昨年までと比べて、少しは改善されていると思われました。これはろう協や障害者団体連絡会から継続して要望を出してきたからだと思います。災害への対応は自助・公助・共助が基本となっていますが、そのためには早く正確な情報が得られる仕組みの確立だけでなく、障害者特にろう者に対する自治会への理解啓発が必要です。(7)の自治会での学習会については、10月21日に市の自治会に関わっている地域振興課と話し合いを行うことになっています。
(浅野史行)

これまで指摘してきた諸課題に少し改善の兆し？ 令和初の市川市総合防災訓練

猛暑の中の8月25日(日)、本年度の市川市総合防災訓練は南行徳駅から旧江戸川河川敷の地域にかかる福栄中学校、広尾防災公園、福祉避難所(3箇所)で行われ、ろう協からは役員8名(福栄中7名、広尾防災公園1名)が参加しました。

広尾防災公園では消防団や市職員による様々な訓練が行われ、市民は見学中心だったようです。福栄中学校(体育館、校庭)では避難所開設訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練、ドローン中継、啓発展示が行われました。



正確な情報提供には視覚的な配慮が大事(画帳等の事前用意)

震災勃発時、避難所には一時に多数の避難者が集中して避難して来ます。一般の避難者とともに避難して来た、障害者や高齢者などの「災害時要援護者」の受け入れを混乱なく行うには、避難所開設段階での受付の対応が重要です。ろう者にとっては視覚的な情報保障の配慮がきちんとされるかどうかで避難の際の安心感がまったく違います。

一昨年昨年に行われた避難所訓練(曾谷小学校)の状況については機関紙「さとみ」にも掲載しましたが、障害者の避難に関しては様々な課題が山積みのもままであることが露呈しました。これらの問題点については、ろう協も障害者団体連絡会を通して市に指摘しています。



筆談ボードを使って受付

今回、福栄中で行われた避難所訓練は、これまでの諸課題点がいくぶんか改善されたものとなっていました。今回の避難所訓練の会場は中学校の体育館だったので小学校の体育館よりも広く、武道用スペースを救護室、福祉避難所として使うことができたため、車椅子など移動上の制約が少なかったこともプラスに影響したと思います。



また今回は避難者の対応にあたった援護スタッフは消防団員や市の職員が中心となっており、自治会の防災担当役員はお手伝いする形となっていたようでした。(一昨年の曾谷小学校の時は、市の危機管理課の担当職員が地元自治会に丸投げ同然で、会場に殆ど顔も出さなかった。)

《当日のスケジュール》

① 9:00~9:30
市の危機管理課・障害者支援課等の職員や障害者団体連絡会役員(介助者、手話通訳者、ろう協会長を含む)による事前打ち合わせ

② 9:30~10:00
避難者に対する受付での対応訓練。
「受付で避難者カードの記入~体育館の所定場所に集合し、諸注意等の伝達など」⇒災害勃発時を想定した、手話通訳者が来られない状況における受付訓練

③ 以後は自由参加
福祉避難所「いきいきセンター福栄」を見学

※①、③は手話通訳の配置あり。②は実地訓練なので手話通訳を入れない。

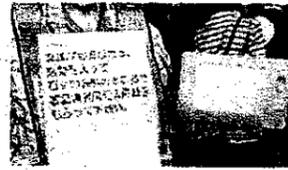


以下、当日の参加者の主な感想(抜粋)です。

- (1) 今年、会場が中学校だったので体育館や校庭が広く、体育館正面舞台の大型スクリーンには広尾防災公園での訓練の様子がライブ中継されていた(但し字幕なし)。また体育館内の隣接した武道用スペースを仕切って救護室・福祉避難所が設けられていた。
- (2) 受付訓練を行ったが、体育館入場時、一般者と要支援者の掲示が明示されており、「要支援者→受付」の掲示が動線に沿っていて、入場者はどこに行けばよいか分かりやすかった。スタッフの対応も昨年に比べて格段にしっかりして良かった。自治会のスタッフ(ボランティア?)への事前学習が行われていたようにも思われた。



筆談ボードを使って質問しました。



自治会の方が正確な情報提供をしていました。視覚的な配慮が大事です。(画帳等の事前用意)

- (3) 視覚表示による情報提供(模造紙による掲示や筆談ボード等の用意、受付等スタッフの対応など)の配慮はおおむね良かったと思う。広尾公園のライブ中継には字幕を入れてほしい。
- (4) 体育館を避難所の生活スペースとして用いる場合、他障害者が一緒になるときは障害の特性による生活習慣の違いを理解しておかないとトラブルが起きたりするので、それに対する啓発は必要になる。例:ろう者の足音が床に響いて寝られないなど。



白布で居住スペースを設置しているところです



消防団職員による説明

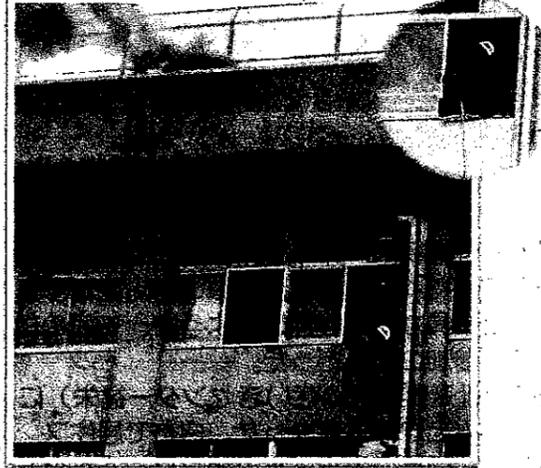


- (5) 今回の受付訓練は、昨年に比べると格段にスムーズに行われたと思う。地域の自治会から選抜した役員が対応していたようで、一般の住民は自由参加のようだった。
- (6) 最後に福祉避難所(いきいきセンター福栄)にも行ってみたが存外狭かった。白布で居住スペースを仕切って段ボールで組み立てるベッドが置かれていたが、(4)で書いたように、一定期間を多様な障害者が共同生活するのはきついかと思う。
- (7) 校庭には地震体験車や煙脱出訓練体験設備などが置かれており、いろいろな体験も可能。自衛隊設置の入浴設備もあったが、足湯だけだったため、利用者はほぼゼロで気の毒。
- (8) 参加者へのお土産多数。校庭で、他市の協力自治体の炊き出しあり。喜多方ラーメンは美味。

今回の避難所訓練(市川市立福栄中学校)は過去の避難所訓練と違って規模が大きかった。校庭に色々なテントが並んでおり、地震体験車、自衛隊の野外入浴システム、炊事訓練(ラーメン、カレー)、煙体験のテント等がありました。それに要配慮者(聴覚障害者をも含む)に対する配慮は今までより数段と良かった。一般人と要配慮者を別々に誘導するようにと掲示板が貼られていました。福祉避難所を設けている「いきいきセンター福栄」へ行きましたが、要介護者用のスペースのみでした。聴覚障害者に対する配慮のスペース(字幕付きテレビ、インターネット、電光掲示板等)が無かったので、残念です。避難所訓練といってもピリピリとした雰囲気が無かったようです。実際に災害が発生したら凄惨な状況になるかも。私が天に召されるまでは天災が発生しないように祈りたい。いや永久に発生しないように。

[A・O]

市川市総合防災訓練



自衛隊設置の入浴設備（足湯）

広尾防災公園にて手話通訳付見学をしたのを報告します。先ず、広尾防災公園の近くの旧江戸川土手へ行って、

- 「ドローン映像送信訓練」→
- 「救命ボートによる救出訓練」→
- 「支援物質・荷捌き訓練」→
- 「緊急船着場接岸訓練」→
- 「土のう構築訓練」→
- 「応援物質・食糧・生活必需品の搬入搬出訓練」→
- 「マンホールトイレ設置訓練」→
- 「医療救護所開設訓練」という順序で見学した。



私は特に「土のう構築訓練」と「マンホールトイレ設置訓練」に注目し、様子をずっと見ていた。



広尾防災公園での訓練は消防局や消防団、市職員、災害ボランティア団、協定事業者による訓練で、まず、災害ボランティアを受講する必要があると痛感した。「自助」「共助」「公助」を生かす為には……。

【M.H】

初めて参加しました。

実際に体験をしてみて、障がい者だからやってもらって当たり前ではなく、まずは自分でできることはやるという自覚ができました。お互いに助け合うためには、何ができるのか改めて考えさせられた訓練でした。

【KA】

第48回関東ろう者体育大会に出場！

6月21日(金)～23日(日)に山梨で開催。理事の土谷敏明さんがボウリング競技の男子団体に出場、見事に銅メダル獲得！さらに「20年連続出場選手賞」ダブル受賞されました。

おめでとう
ございます！

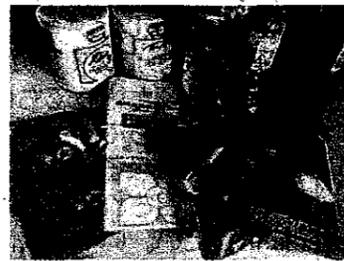


初めて参加してみてもあれ？私の正直な感想です。避難者名簿とアンケートを記入したら「自由解散です！」頭の中は？マークがいっぱい。何しに来たのだろう？訓練の中で、障害者を想定したく避難所訓練がこれ？

もしもの時の聴覚障害者はなおざりされるのではと不安を覚えた。今までの避難訓練より聴覚障害者等に対する配慮は良くなったとの話を聞いたが、これが？確かに小さなホワイトボードやスケッチブックに情報を書いてくれた。必要な最小限の情報は入ってくるが、不安だけが先に立つ。聞こえる人も聞きづらい時のために、大きな電子掲示板に目で見える情報があったらと思う。

防災訓練のアルファ米を使ってのカレーライスが美味しかった。早速保存食としてアルファ米を注文した。

【M.U】



こんなに沢山もらいました！

秋のデフトラベル2019

秩父のパワースポットを 探訪しよう!!

日時：11月23日(土・祝)～11月24日(日)

行先：秩父市、両神温泉(小鹿野町)他

集合場所：総武線市川駅改札口

集合時間：午前6時30分

交通手段：JR市川⇄JR池袋、西武池袋⇄西武秩父

宿泊先：両神温泉「国民宿舎両神荘」

〒368-0202 埼玉県秩父郡小鹿野町両神小森707 ☎0494-79-1221

見学場所(予定) ①秩父神社 ②ちちぶ祭り会館 ③武甲酒造 ④秩父市内の散策他

※スケジュール、交通の事情によりコースを変更する場合があります。

参加費：15,000円(会員対象)(交通費、宿泊代、入湯税、記念写真、保険料等を含む)

※①会員対象：市川市ろう者協会、輪の会、汐風、市川班、受講生

※②非会員の場合は16,000円になります。

※③参加費に含まれないもの：

最寄り駅～JR池袋駅まで(往復)の交通費、1日目、2日目の昼食代(各自負担)

定員：20名 ※定員に達し次第、申込終了とさせていただきます。

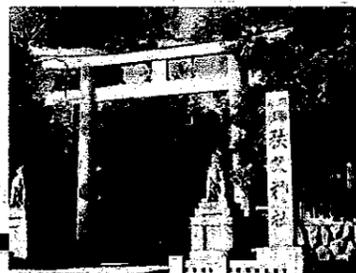
申込締切日：10月26日(土)

お申込・お問合せ先：大下晶 FAX：047-372-3417

E-mail：akira.ohshita@outlook.jp

申込み記入事項は下記の通り

- ①氏名 ②住所 ③FAX ④生年月日(旅行保険加入のため)
- ⑤所属団体名(市川市ろう者協会、輪の会、汐風、受講生)



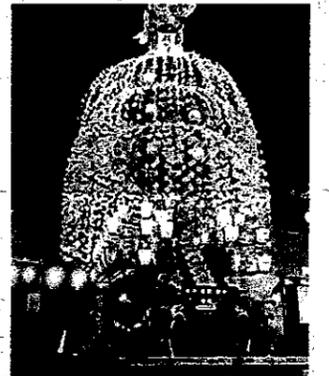
秩父神社の鳥居



江戸中期創業以来の店舗「武甲酒造」



国民宿舎両神荘の岩風呂



ちちぶ祭り会館の展示物の一つ

市川市4団体合同日帰りツアー

只今、市川市の福祉バス使用申請中です。

結果が分かり次第、日程・場所を当会のホームページ、事務局ニュースでお知らせします。お待ちください。



◆次回の街頭カンパ活動予定日◆
11月16日(土) JR津田沼駅(習志野市)

令和元年度 第1回 総武ブロック一斉街頭カンパ活動を実施!!

日時: 令和元年7月7日(日)10時~14時
場所: JR市川駅北口・南口、JR本八幡駅北口・南口



◇募金額; 123,966円
【市川駅; 67,903円、本八幡駅; 55,963円、募金箱の底; 100円】

当日は、総武ブロック各市から80名が集まり、
【船橋市・習志野市・鎌ヶ谷市・市川市】グループ→市川駅北口・南口
【八千代市・船橋市・浦安市・市川市】グループ→本八幡駅北口・南口
それぞれに分かれてカンパ活動を行いました。
市川駅構内ではイベント「七夕まつり」が開催されており、その来場者で混んでいました。多くの家族連れや若者や高齢者の方が募金に応じてくれました。ただ、市川駅南口では、7月21日の参議院選挙の街頭演説があったり、バスを待つ乗客の長い行列が出た為、募金がちょっとやりにくかったが、ろう者と健聴者が共に頑張ったおかげで多くの方が募金に応じてくれました。当日は梅雨らしい雨天で蒸し暑かったので、約10分毎に十分に休憩水分補給しながらカンパ活動しました。
今回は、3年前の平成28年と比べると雨天にもかかわらず、予想外に募金に応じてくれる方が多かったようです。梅雨模様の雨天の中、一日中カンパ活動に協力して下さった皆様、本当にありがとうございました。

【報告: 百瀬由紀子】

◇参加人数/延べ 80名(うち、市川市 29名)
【市川駅: 当会4名 輪の会11名 受講生5名】
【本八幡駅: 当会1名 輪の会4名 夕風4名】

第44回いちかわ市民まつり☆☆協力者募集!

- ◆日時: 令和元年11月3日(日・祝)10時~16時 ※荒天時中止
- ◆場所: 大洲防災公園(市川市大洲1-18)
- ◆内容: カンパ活動、福祉バザー、ゲーム等への協力
- ◆目的: ろう重複障害者施設建設のための資金造り
- ◆時間: ①10時~12時 ②12時~14時 ③14時~16時
④7時~10時(開始前の準備)
⑤16時~17時(終了後の後片付け)
- ◆申込締切日: 10月22日(火)下記宛お申込みください。
- ◆手伝い窓口: 百瀬由紀子 FAX 047-338-0435
(問合せ) 携帯メール: yukiko-m.o@docomo.ne.jp
PCメール: yukimo3361@ybb.ne.jp

バザー一値札貼り作業日
【日時】
10月26日(土)10時~12時半
(9時半~部屋使用できます)
【場所】
菅野公民館 多目的ホール
市川市菅野3-24-2
京成線「菅野」駅下車徒歩10分

※品物によって実行委員の判断で受付をお断りする場合があります。
※市民まつり当日の持込みはご遠慮下さい。

◆備考: 原則、雨天決行です。雨天時に備えて雨合羽等の用意をお願いします。
※養成講座受講生の方、別途お知らせします。
地域活動参加の押印対象となる為には2時間以上の参加が条件です。

- ◆あなたの家の押入れに眠っている「お宝」をご提供下さい◆
- ◎ 受付可...新しい服、日用品、おもちゃ、本、ぬいぐるみ(小)、DVD
- × 受付不可...古着、靴、飲食品、大きいもの(例:家電、健康器具、人形)
- ◆「お宝」受付期間: 10月22日(火)まで ※値札貼り(10月26日)当日の持参も可
- ◆「お宝」受付窓口(問合せ)
井上雅博 FAX 047-371-2766 携帯メール: olympiays-11ana@softbank.ne.jp

ピア・カウンセリング市川(9月~12月)

令和元年度も 市役所仮本庁舎 障がい者支援課 で実施します!

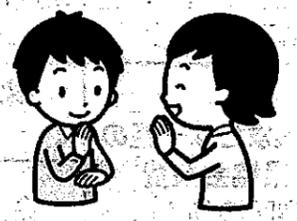
「ピアカウンセリング」とは、同じ障害を持った人が仲間(ピア)として相談を受け、自らの経験をもとにアドバイスしたり、一緒に考えたりします。

日時: 月2回、第2火曜日・第4火曜日 午前10時~12時(場所: 市役所仮本庁舎 2階)
令和元年 9月10日、9月24日、10月8日、10月22日、
11月12日、11月26日、12月10日、12月24日
カウンセラー: 植野 都

※ご希望の方は、事前にご予約くださるようお願いいたします。
予約連絡先: 障がい者支援課(平成29年5月8日からFAX番号が変わりました)
FAX 047-712-8727 (☎047-334-1111)

相談内容: 教育(親子)、人間関係、職業、健康、介護、医療、結婚、離婚、出産、子育て、コミュニケーション等、気になること、悩んでいることなどをお気軽にご相談下さい。

相談内容の秘密は絶対に守りますので、安心して一緒にお茶でも飲みながら、お話ししませんか。



【市川市からのお知らせ】

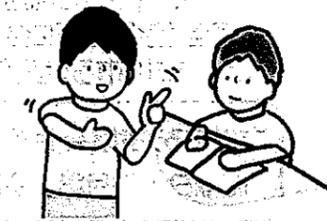
手話通訳・要約筆記の派遣を依頼するときは、障がい者支援課へ

市川市の「手話通訳者・要約筆記者派遣事業」は、市役所仮本庁舎「障がい者支援課」で行っています。
手話通訳・要約筆記の派遣を依頼するときは、障がい者支援課にご連絡ください。

連絡先 FAX: 047(712)8727 (平成29年5月8日から変わりました)
電話: 047(334)1111

受付時間 月曜日~金曜日 午前8時40分~午後5時00分
(土・日・祝祭日・年末年始はお休みとなります)

申請方法 FAX・窓口での申請をお願いいたします。
派遣時間 午前8時~午後10時まで
費用 無 料



不明な点がございましたら、市川市役所仮本庁舎 障がい者支援課までご連絡をお願いいたします。

■連絡先 市川市役所仮本庁舎 障がい者支援課
(平成29年5月8日から変わりました)
FAX: 047(712)8727 障がい者支援課直通
電話: 047(334)1111 市川市役所仮本庁舎(電話番号変更ありません)
担当(手話通訳者 奥山/松岡/平川(月~金)、要約筆記者 金田(月・木))まで

会員募集中!

ぜひ

平成30年度は 64名

本年度会員数 56名 (9月6日現在)

市川市ろう者協会にご入会ください!



会費のご説明

令和元年度もぜひ会員継続をお願いいたします。

- ◆市川市ろう者協会の会費：単独会費2,000円、夫婦会費3,000円
- ◆(社福)千葉県聴覚障害者協会の会費：1名につき15,000円<減免制度あり。下記参照>
- ◆会費は市会費・県会費の一括納入をお願いしています。令和元年度もぜひ一括納入にご協力ください。
<市川市ろう者協会のみ入会の場合の会費は5,000円です。(市外のろう者のみに適用)>
- ◆千葉県協会体育部会員(全国ろうあ者体育大会、関東ろう者体育大会に参加希望の方)の会費は、必ず市川市ろう者協会を経由して納入することになっています。ご協力ください。

<減免制度適用後の会費(実際の納入額、1年分)>

(社福)千葉県聴覚障害者協会会費	15,000円/1名 (全日本ろうあ連盟登録料:2,500円、関東ろう連盟登録料:500円 が含まれています)				
一人または一組の 県協会会費 <実際の納入額>	減免額 高齢者 : 2,000円/1名 夫婦 : 2,000円/1組 (夫婦の場合1名につき1,000円減額)				
	会員	高齢者	夫婦	夫婦の一方のみ高齢者	夫婦ともに高齢者
	15,000円	13,000円	28,000円	27,000円	26,000円
市川市ろう者協会	2,000円	2,000円	3,000円	3,000円	3,000円
合計の納入額	17,000円	15,000円	31,000円	30,000円	29,000円

■会費お払い込みの方法 (3通りあります。)

①郵便局備え付けの振替用紙をご使用の場合

口座加入者名：市川市ろう者協会

口座番号：00140-9-151023

②他金融機関(銀行など)からのお振り込みの場合

振込用口座番号：〇一九(ゼロイチキウ)店(019) 当座 0151023

※①②をご利用の場合、申し訳ありませんが、手数料をご負担くださるよう、お願いします。

③当協会理事に会費を直接お預けになる場合、まずは下記宛にお問い合わせください。

市川市ろう者協会 会計部 会費等集金担当 立本和子 FAX 047-396-4727

市川市ろう者協会 月例理事会

開催日：毎月第1金曜 19時~21時

会場：市川公民館 第1会議室

傍聴大歓迎!

当協会に関するお問い合わせは、下記宛にお願いします：

市川市ろう者協会事務局 (朝香敬子)

FAX : 047-711-2265

mail : asahi0485@gmail.com

市川市ろう者協会会報 さとみ第134号

令和元年(2019年)9月14日発行

発行人 浅野史行 編集 広報部

発行 市川市ろう者協会

▼QRコード



今年6月から市川市ろう者協会のホームページを開始しました。
QRコードを読み取って、自動的にログインページにアクセスするか、
以下のURLに直接アクセスしてください。

URL <http://deaf-ichikawa.jp/>

わかりあう つながる

12月3日から9日は内閣府が定めた「障害者週間」です。広く障がい者福祉についての関心と理解を深め、障がいのある方が社会・経済・文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。市では、障がいの有無にかかわらず、人格と個性を尊重し合い支え合う「共生社会」のため、誰もが参加できるイベントを開催します。(障がい者支援課)

I♥あいフェスタ

日 12月7日(土)午前11時～午後4時 場 ニッケコルトンプラザ
12月8日(日)午前11時～午後3時30分 コルトンホール(鬼高1-1-1)

お菓子やジャム、野菜などの食品や手作り雑貨の販売、障がいについて理解を深められる体験コーナー、みんなで盛り上げられるステージなど、さまざまな催し物があります。

☎712-8513障がい者支援課

12月7日(土)

福祉作業施設の製品販売などを行います。

体験コーナー

最新の電動車いす試乗

点字名刺作成

名刺サイズの紙に自分の名前を点字で書くことができます。シールで飾りつけもできます。

ストーマ説明

軍手で折り紙

軍手を二重にはめて制限時間内で鶴を折ることで障がいのある方が細かい作業をする難しさを体験します。

イヤーマフ体験

聴覚過敏がある方に有効とされる耳当てをし、外部の音がどのように聞こえるか体験します。

工作コーナー

松ぼっくりを飾りつけ、小さなクリスマスツリーを作ります。

不安症を軽減するためのVR体験会

チーバくんや
いちかわうそくんも
あそびにいくよ。

スタンプラリー

会場内でスタンプを集め、プレゼントと交換できます。

12月8日(日)

市内大学サークルや障がい者団体によるさまざまな催し物をステージで行います。

CrazyGirl 11:10~11:25	和洋女子大学ダンスサークルです。
キャラバン隊「空」 11:35~12:05	知的障がいがある方への理解を深めるため、「聞こえ方」「見え方」などを演じます。
フォルテ フラダンスチーム 12:45~13:15	障がいがある方の施設でフラダンスを教えている先生と一緒に踊ります。
ぽぴい 13:30~14:00	ユニバーサルなバンド演奏です。
レンコンバンド 14:15~14:45	障がいがある方の通所する施設のバンドです。
チャレンジド・ ミュージカル 15:00~15:20	障がいがある人もない人も共に作り、楽しむミュージカルです。

12月7日(土)～8日(日)

I♥1グランプリ表彰式・展示会

11月17日までメディアパーク市川「カフェテラスぴっころ」で行われた、福祉施設などの生産品や写真の人気投票で選ばれた展示作品を12月7日午後3時から表彰します。また、入賞作品は会場内に展示しています。

Contents

2 タウンミーティング参加者募集

- 3 特殊詐欺対策電話機など購入費補助金
4 パブリックコメント ご意見をお寄せください

- 5 1月入園希望の受付を開始します
6 おとなの食育講習会 電子レンジでバランス食生活

- 7 初日の出特別観覧
7～8 市民の広場

発行
市川市

編集
企画部広報広聴課

住所
〒272-8501 市川市南八幡2-20-2

電話
047-334-1111(代)

FAX
047-712-8764